

各務原市の概況と公共交通の現状

1. 都市機能特性

①人口・世帯数推移

●平成2年以降増加傾向にあり、岐阜県、大垣市、岐阜市より高い人口増加率

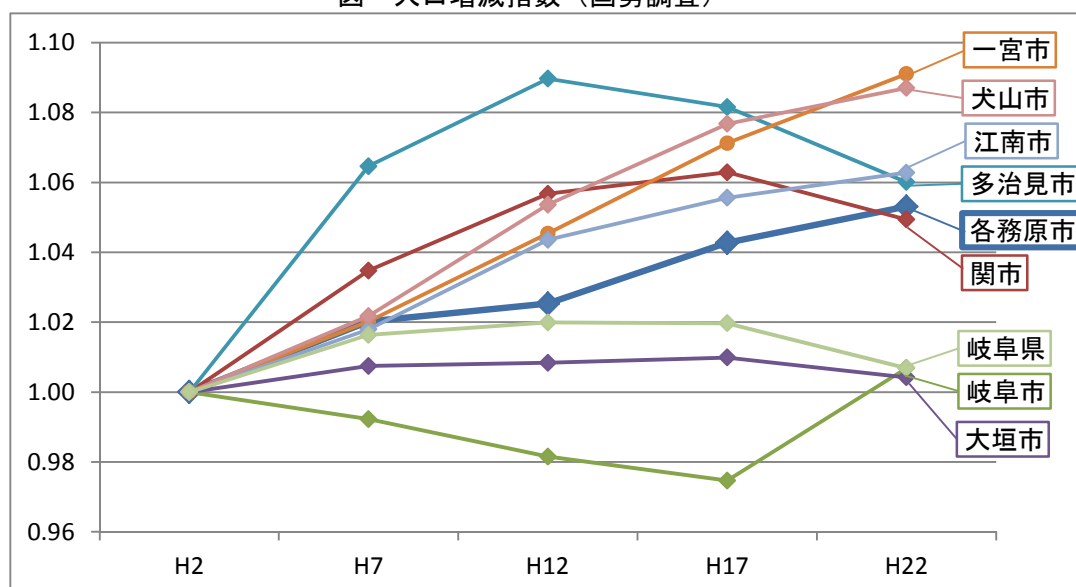
各務原市の人口は、平成2年以降増加傾向にあり、平成2年から平成22年までの人口増加率は5.3%である。

周辺及び類似市等と比較すると、多治見市、一宮市、犬山市、江南市より増加率が低いが、関市、岐阜市、大垣市、岐阜県より増加率が高い。なお、岐阜市は平成2年から平成17年にかけて人口が減少していたものの、平成17年から平成22年にかけて増加に転じている。また、多治見市は合併した旧笠原町の人口減少の影響を受け、平成12年以降人口が続いている。

表 人口推移（国勢調査）

人口	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
各務原市	138,264	141,055	141,765	144,174	145,604
関市	87,117	90,147	92,061	92,597	91,418
岐阜市	410,324	407,134	402,751	399,931	413,136
大垣市	160,483	161,679	161,827	162,070	161,160
多治見市	106,213	113,079	115,740	114,876	112,595
一宮市	346,972	353,999	362,726	371,687	378,566
江南市	93,837	95,521	97,923	99,055	99,730
犬山市	69,178	70,681	72,887	74,490	75,198
岐阜県	2,066,569	2,100,315	2,107,770	2,107,226	2,080,773

図 人口増減指数（国勢調査）



●平成2年以降増加傾向にあり、世帯あたり人員2.80人/世帯

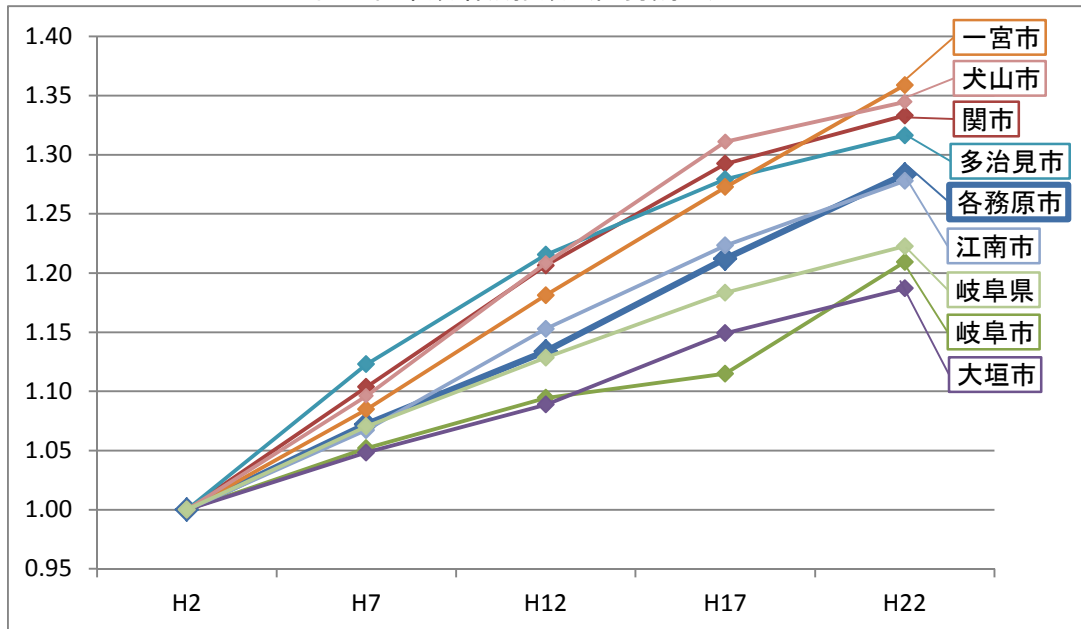
各務原市の世帯数は、平成2年以降増加傾向にあり、平成2年から平成22年までの世帯数増加率は28.3%であり、人口増加率(5.3%)に比べ非常に高い値を示している。

しかしながら、世帯当たりの人員は、平成22年時点では2.80人/世帯であり、平成2年時点で3.41人/世帯であった世帯平均人員が平成17年には世帯平均人員3人を割り込み、さらに減少している。なお、周辺及び類似市においても世帯数は増加しており、人口減少傾向にある岐阜市や多治見市等においても世帯数は増加傾向にある。

表 世帯数推移(国勢調査)

人口	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
各務原市	40,492	43,412	45,911	49,081	51,961
関市	24,164	26,667	29,153	31,227	32,212
岐阜市	133,726	140,680	146,350	149,098	161,718
大垣市	49,315	51,696	53,694	56,668	58,536
多治見市	30,541	34,292	37,121	39,068	40,200
一宮市	99,971	108,434	118,081	127,219	135,837
江南市	27,989	29,870	32,265	34,239	35,768
犬山市	20,348	22,303	24,590	26,678	27,359
岐阜県	602,906	645,341	680,317	713,452	737,151

図 世帯数増減指数(国勢調査)



②高齢者人口率の推移

●高齢者人口率の拡大

平成 22 年の年齢 3 区分別の人口割合は、年少人口（15 歳未満）が 14.8%、高齢人口（65 歳以上）が 21.7%であり、平成 17 年に比べ、高齢人口の割合がますます高くなっている。

周辺及び類似市等と比較すると、平成 22 年時点で、年少人口率はすべての市が 13~15%の範囲に入っており、ほぼ同様に減少傾向を示している。また高齢人口は 21~24%の範囲に入っており、平成 2 年時点に比べ高齢人口の割合が 10%以上高くなっている。

図 各務原市の年齢別人口構成の推移（国勢調査）

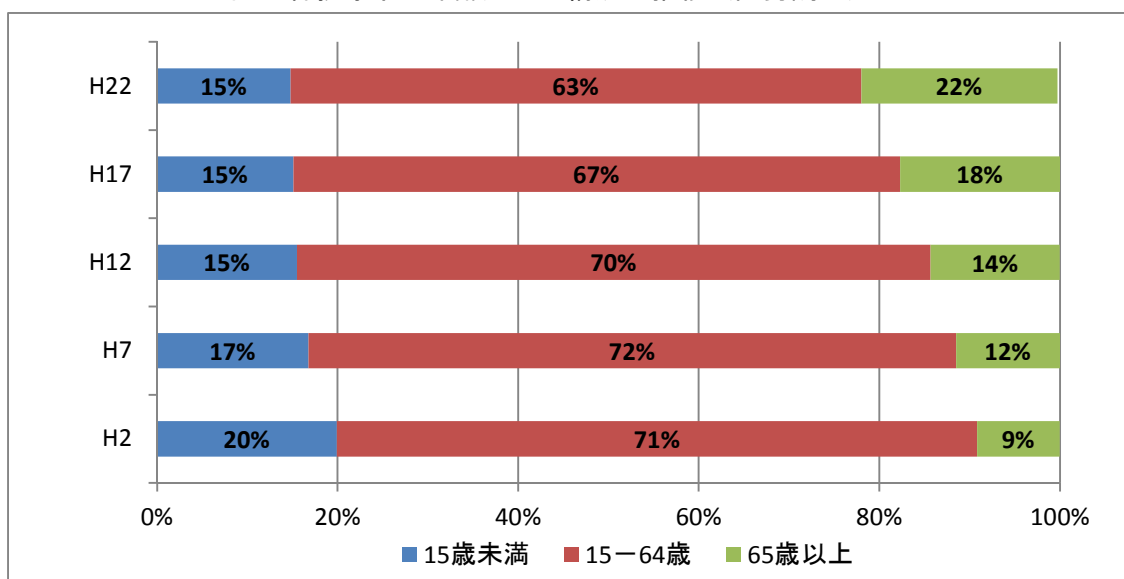


図 年少人口率の推移（国勢調査）

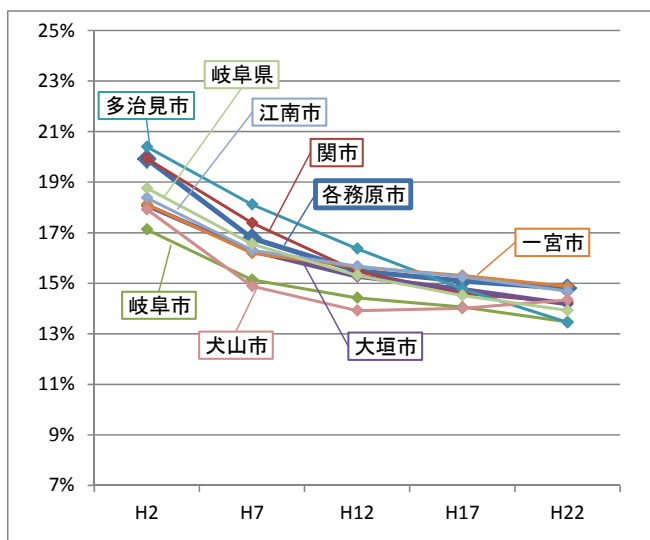


図 高齢者人口率の推移（国勢調査）

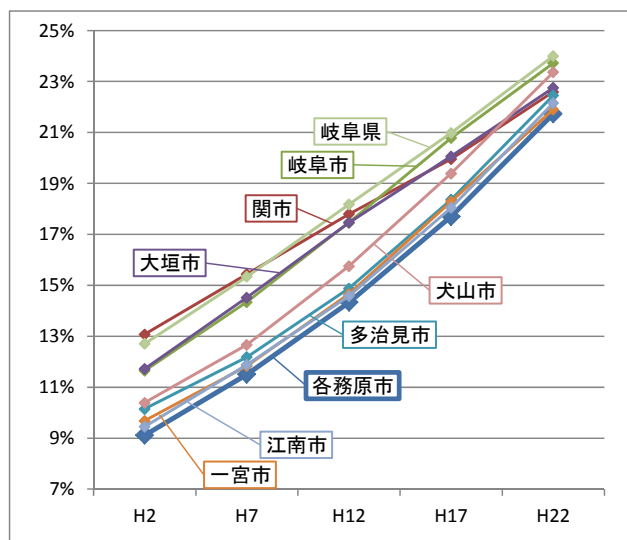


表 年齢（3区分）別人口推移（国勢調査）

人口		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
各務原市	総数	138,264	141,055	141,765	144,174	145,604
	15歳未満	27,538	23,676	21,963	21,752	21,548
	15-64歳	98,081	101,153	99,482	96,906	92,027
	65歳以上	12,602	16,226	20,315	25,516	31,641
関市	総数	87,117	90,147	92,061	92,597	91,418
	15歳未満	17,367	15,673	14,243	13,525	13,019
	15-64歳	58,360	60,555	61,400	60,545	57,579
	65歳以上	11,390	13,919	16,388	18,481	20,654
岐阜市	総数	421,149	418,574	415,085	413,367	413,136
	15歳未満	72,146	63,380	59,869	58,094	55,653
	15-64歳	299,256	295,105	282,685	269,256	255,692
	65歳以上	49,061	60,042	72,486	85,911	98,022
大垣市	総数	160,483	161,679	161,827	162,070	161,160
	15歳未満	29,001	26,315	24,704	23,921	22,844
	15-64歳	112,633	111,887	108,852	105,517	100,910
	65歳以上	18,808	23,475	28,252	32,512	36,669
多治見市	総数	106,213	113,079	115,740	114,876	112,595
	15歳未満	21,671	20,486	18,947	16,978	15,142
	15-64歳	73,719	78,791	79,402	76,649	71,198
	65歳以上	10,781	13,777	17,223	21,096	25,286
一宮市	総数	346,972	353,999	362,726	371,687	378,566
	15歳未満	62,890	57,320	56,730	56,893	56,307
	15-64歳	250,149	254,769	252,633	246,501	236,659
	65歳以上	33,597	41,890	53,174	67,968	82,915
江南市	総数	93,837	95,521	97,923	99,055	99,730
	15歳未満	17,249	15,576	15,349	15,103	14,639
	15-64歳	67,716	68,589	68,204	65,861	62,694
	65歳以上	8,872	11,350	14,282	17,872	22,099
犬山市	総数	69,801	71,342	72,583	74,294	75,198
	15歳未満	12,510	10,620	10,101	10,409	10,784
	15-64歳	49,930	51,681	50,849	49,359	46,673
	65歳以上	7,252	9,036	11,434	14,404	17,571
岐阜県	総数	2,066,569	2,100,315	2,107,700	2,107,226	2,080,773
	15歳未満	387,665	347,733	322,769	305,845	289,748
	15-64歳	1,415,333	1,430,294	1,401,064	1,357,583	1,282,800
	65歳以上	262,594	322,299	383,168	442,124	499,399

③商業機能特性

③-1. 店舗数・従業員数・商業販売額推移

●大きな市場（岐阜市、一宮市）に隣接し、周辺都市の中では効率の良い事業展開

各務原市の平成19年の小売業は1,020事業所、従業員数7,586人、年間商品販売額136,493百万円、売場面積174,913㎡であり、小売業の規模は岐阜市、大垣市に次いで大きい。

商業データを指標化してみると、売場効率（売場面積1㎡当りの売上額）は約78万円/㎡となっている。従業者当り販売額は17,990,000円/人であり、一宮市に次いで高く、事業所当り販売額は133,820,000円/件で同じく一宮市に次いで高い。周辺都市の中では比較的高率が良い事業展開となっていると考えられる。

表 小売事業所の状況（商業統計調査）

平成19年	事業所数	従業者数 (人)	年間商品 販売額 (百万円)	売場面積 (㎡)
各務原市	1,020	7,586	136,493	174,913
関市	939	6,255	90,794	119,793
岐阜市	4,249	26,859	459,468	564,310
大垣市	1,761	11,510	175,617	266,579
多治見市	950	6,710	112,602	138,304
一宮市	2,785	20,547	372,830	412,494
江南市	701	5,101	87,525	129,623
犬山市	539	3,372	47,904	60,326
岐阜県	20,835	128,392	2,112,133	2,884,531
愛知県	57,153	436,194	8,291,533	8,463,108
愛知+岐阜	77,988	564,586	10,403,666	11,347,639

平成19年	売場効率 (万円/㎡)	従業者当り 販売額 (万円/人)	事業所当り 販売額 (万円/件)	事業所当り 売場面積 (㎡/件)
各務原市	78	1,799	13,382	171
関市	76	1,452	9,669	128
岐阜市	81	1,711	10,814	133
大垣市	66	1,526	9,973	151
多治見市	81	1,678	11,853	146
一宮市	90	1,815	13,387	148
江南市	68	1,716	12,486	185
犬山市	79	1,421	8,888	112
岐阜県	73	1,645	10,137	138
愛知県	98	1,901	14,508	148
愛知+岐阜	92	1,843	13,340	146

●近年は商店数・従業者数ともに減少傾向にあり、年間商品販売額はやや持ち直す

また、平成9年からの商業指標の推移をみると、商店数は一貫して減少し、従業者数は平成14年にかけて増加したのち減少に転じている。年間商品販売額は、平成9年から14年にかけて大きく減少したものの、平成19年にかけてやや持ち直している。

表 商業指標の推移（商業統計調査）

単位：万円			
	商店数	従業者数	年間商品販売額
平成9年	1,229	6,747	14,265,560
平成14年	1,140	7,991	13,343,165
平成19年	1,020	7,586	13,649,300

③-2. 小売吸引力

●周辺都市への流出がみられる小売販売業（小売吸引力93.7%）

平成19年10月1日時点の岐阜県及び愛知県の統計書の人口で年間商品販売額を除いた、人口1人当たりの年間商品販売額は94.1万円である。

岐阜県の人口1人当たりの販売額を100%と考えた小売吸引力は93.7%であり、周辺都市への小売販売の流出がみられる。特に岐阜市の吸引力は110.8%であり、岐阜市に小売販売の流出が非常に多いものと思われる。

表 小売吸引力の比較（商業統計調査）

平成19年人口 （各統計書）	平成19年	年間商品 販売額 （百万円）	人口1人当たり販 売額 （万円/人）	小売吸引力 （愛知+岐阜） （%）	小売吸引力 （岐阜） （%）
144,996	各務原市	136,493	94.1	85.5	93.7
92,788	関市	90,794	97.9	88.9	97.4
412,653	岐阜市	459,468	111.3	101.2	110.8
162,944	大垣市	175,617	107.8	97.9	107.3
114,647	多治見市	112,602	98.2	89.3	97.8
375,404	一宮市	372,830	99.3	90.2	98.9
99,938	江南市	87,525	87.6	79.6	87.2
75,181	犬山市	47,904	63.7	57.9	63.4
2,102,259	岐阜県	2,112,133	100.5	91.3	100.0
7,351,713	愛知県	8,291,533	112.8	102.5	-
9,453,972	愛知+岐阜	10,403,666	110.0	100.0	-

④通勤通学流動（周辺市町との結びつき）

●通勤・通学は流出超過（名古屋市、岐阜市、犬山市、小牧市へ流出）

各務原市の通勤・通学流動は、流入－流出が 12,257 人と大きく流出超過の状態にあり、特に、名古屋市、岐阜市、犬山市、小牧市への流出が多く、愛知県の市町に対しては、一宮市を除く各市町に対して流出超過である。

岐阜県内をみると、関市、羽島市、瑞穂市、山県市など、流入超過の市町も多く、全体として流入、流出がほぼ同数となっている。

人口流動は、ほとんどが愛知県もしくは岐阜県の市町で構成されている。

図 本市における通勤者の流入先及び流出先（主な都市）

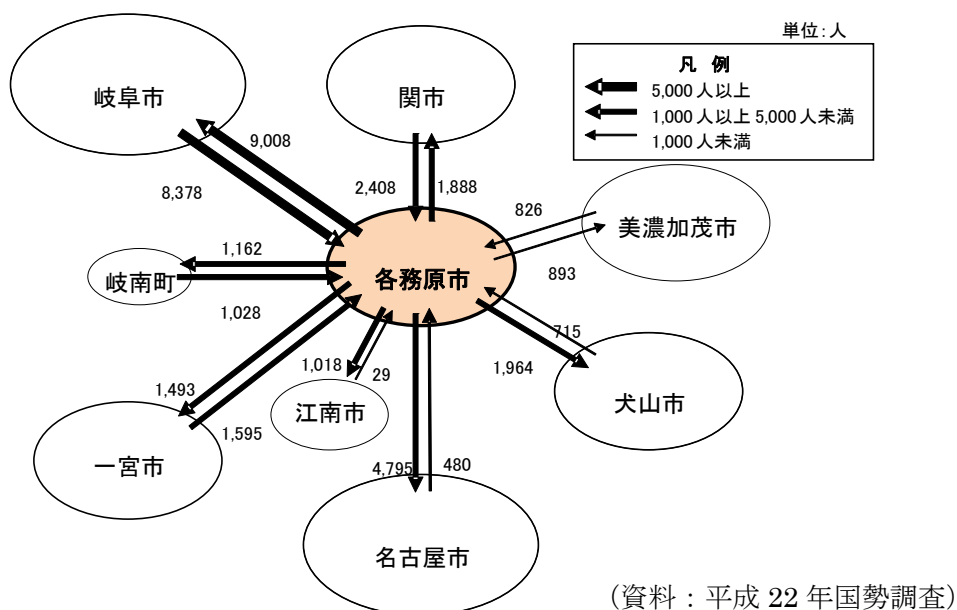


図 本市における通学者の流入先及び流出先（主な都市）

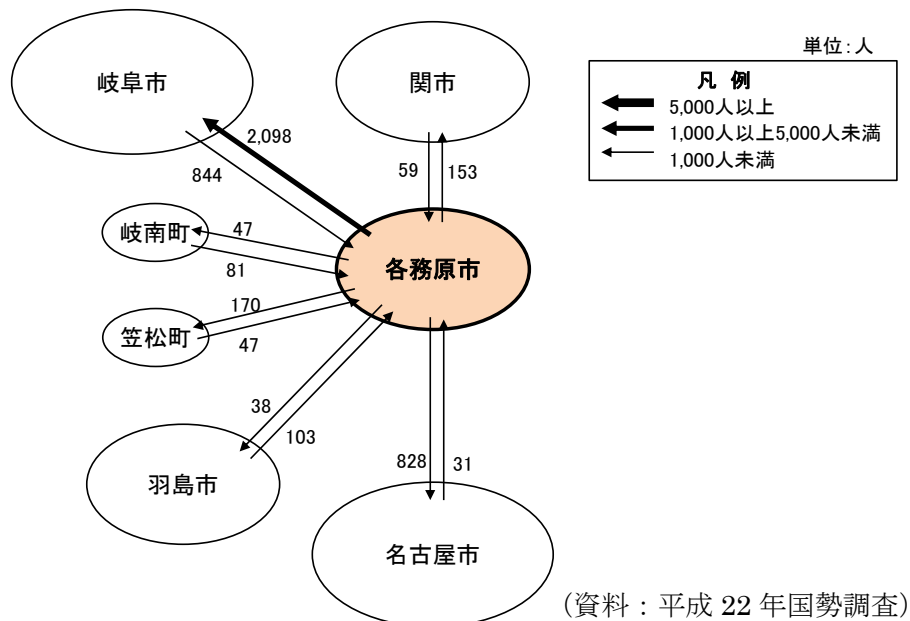


表 各務原市の人口流動（国勢調査）

流出	平成22年			流出入	平成22年			流入
	総数	就業者	通学者		通学者	就業者	総数	
市内に常住する就業者・通学者	78,207	71,456	6,751	-9,614	4,228	64,365	68,593	市内で従業・通学する者
市内で従業・通学	39,847	37,599	2,248	0	2,248	37,599	39,847	各務原市に常住
他市町村で従業・通学	37,008	32,574	4,434	-12,257	1,689	23,062	24,751	他市町村に常住
県内	19,360	16,628	2,732	-1	1,536	17,823	19,359	県内
岐阜市	11,106	9,008	2,098	-1,884	844	8,378	9,222	岐阜市
大垣市	533	481	52	-73	47	413	460	大垣市
多治見市	177	175	2	-40	18	119	137	多治見市
関市	2,041	1,888	153	426	59	2,408	2,467	関市
美濃市	170	170	-	135	7	298	305	美濃市
羽島市	402	364	38	304	103	603	706	羽島市
美濃加茂市	937	893	44	-66	45	826	871	美濃加茂市
可児市	698	676	22	-12	36	650	686	可児市
山県市	93	92	1	257	16	334	350	山県市
瑞穂市	204	188	16	262	70	396	466	瑞穂市
本巣市	158	107	51	85	17	226	243	本巣市
岐南町	1,209	1,162	47	-100	81	1,028	1,109	岐南町
笠松町	738	568	170	-71	47	620	667	笠松町
北方町	56	45	11	103	10	149	159	北方町
坂祝町	222	214	8	80	15	287	302	坂祝町
					12	113	125	川辺町
				593	10	118	128	御嵩町
その他の市町村	616	597	19		99	857	956	その他の市町村
県外	15,005	13,525	1,480	-9,613	153	5,239	5,392	県外
愛知県	14,645	13,246	1,399	-9,438	127	5,080	5,207	愛知県
名古屋市	5,623	4,795	828	-5,112	31	480	511	名古屋市
一宮市	1,521	1,493	28	100	26	1,595	1,621	一宮市
春日井市	438	353	85					
犬山市	1,993	1,964	29	-1,273	5	715	720	犬山市
江南市	1,047	1,018	29	-212	6	829	835	江南市
小牧市	1,135	1,122	13	-870	10	255	265	小牧市
大口町	690	686	4					
扶桑町	419	357	62	-115	2	302	304	扶桑町
その他の市町村	1,779	1,458	321	-1,956	47	904	951	その他の市町村
三重県	82	68	14	-32	10	40	50	三重県
その他の都道府県	278	211	67	-143	16	119	135	その他の都道府県

※流出入は、流入総数-流出総数で、愛知県その他の市町村の値は春日井市、大口町を含んだ値。

2. 公共交通の現状

1) サービス水準の整理

各務原市には、名鉄犬山線・各務原線の12駅、JR高山本線の4駅が存している。また、バス交通は、岐阜バス、岐阜コミュニティバス、名鉄バス及び各務原ふれあいバスの4社によりサービスされている。以下に、鉄道及びバス交通のサービス水準を整理する。

① 鉄道

●岐阜市、名古屋市への都市間交通需要に対処する名鉄各務原線、犬山線、JR高山本線

各務原市は、岐阜市及び名古屋市との結びつきが強く、岐阜市へは名鉄各務原線及びJR高山本線、名古屋市へは名鉄犬山線がこれら都市間交通需要に対応している。

交通バリアフリー法の対象となる名鉄新鵜沼駅は、平成21年3月末に鵜沼駅橋上化、鵜沼空中歩道、名鉄新鵜沼駅前広場が整備されており、鵜沼駅空中歩道は名鉄新鵜沼駅と橋上化したJR鵜沼駅を直結し24時間往来可能な歩行者専用通路として、また新鵜沼駅前広場は、路線バスやふれあいバス等の発着拠点として機能している。

表 各務原 鉄道状況

	運行本数	運行時間帯	
	(本/日)	始発	終着
JR高山本線	83	5:12	0:21
名鉄各務原線	233	5:20	0:28

※始発・終着は、JR高山本線では鵜沼駅、名鉄各務原線は新鵜沼駅での時刻

表 駅間運賃

■ JR高山本線 (単位：円)		H25.9 現在			
	鵜沼	各務原	蘇原	那加	岐阜
鵜沼	—	180	200	230	320
各務原	—	—	140	180	230
蘇原	—	—	—	180	230
那加	—	—	—	—	200

■名鉄 (単位：円) H25.9 現在

	鵜沼	名電各務原	三柿野	六軒	各務原市役所前	新那加	名鉄岐阜	犬山	名鉄名古屋
新鵜沼	—	220	220	290	290	290	440	160	590
名電各務原	—	—	160	220	220	230	340	220	650
三柿野	—	—	—	160	160	220	340	290	710
六軒	—	—	—	—	160	160	290	290	710
各務原市役所前	—	—	—	—	—	160	290	340	710
新那加	—	—	—	—	—	—	290	340	710
名鉄岐阜	—	—	—	—	—	—	—	440	540
犬山	—	—	—	—	—	—	—	—	540

■ ゆったりとした空間を有し、交通結節点として機能する新鶴沼駅前広場



■ 名鉄新鶴沼駅とJR鶴沼駅を結ぶ空中歩道



■ JR鶴沼駅 駅前広場と駐輪場



■名鉄新那加駅とJR那加駅周辺の様子



▼エスカレータ・エレベータが設置されていない新那加駅への階段



▲駐車場から新那加駅に繋がる出入り口



▲新那加駅と那加駅の間にある駐車場出入り口



▲イオンへのシャトルバス乗降場



▲JR那加駅

②タクシー

- タクシー事業者数、輸送人員及び運送収入は減少傾向
- 各務原市で営業展開をする事業者は5者

図 岐阜県内の法人タクシー事業者の現状

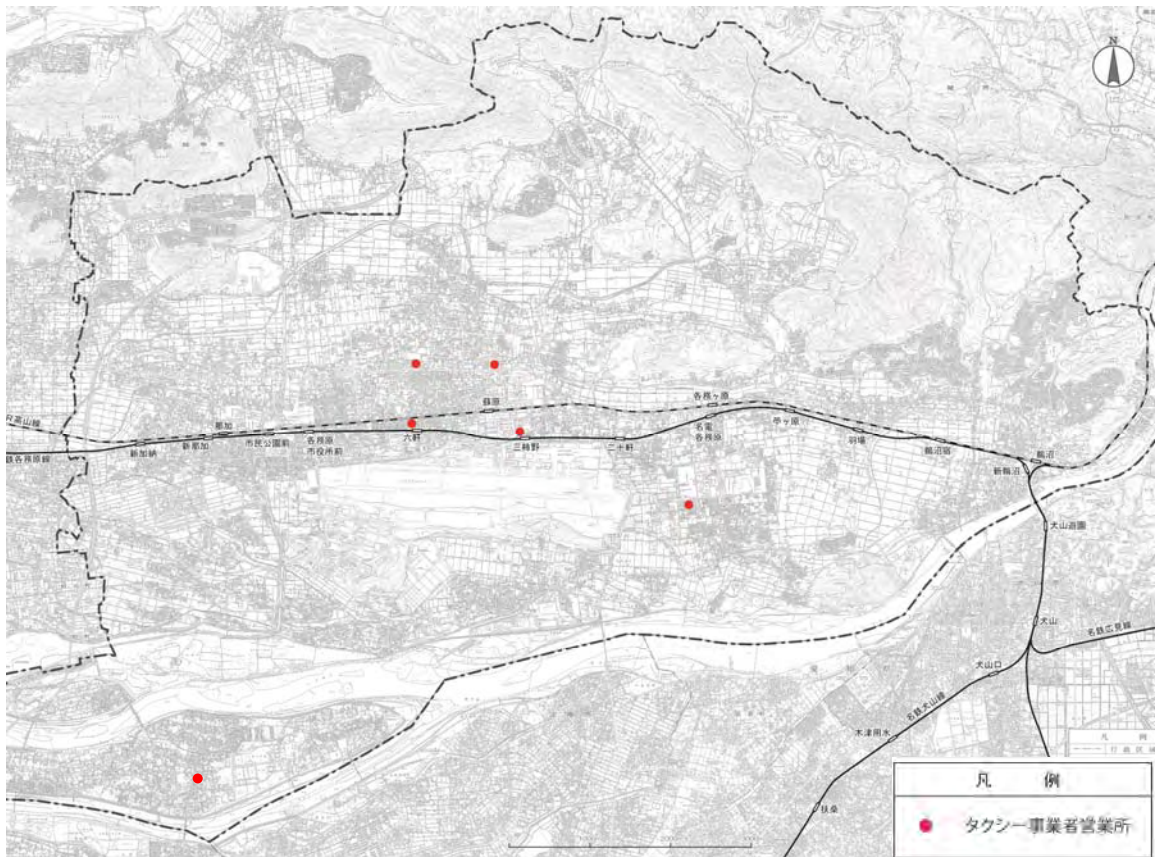


図 岐阜県内の個人タクシー事業者の現状



(資料：中部運輸支局 数字でみる中部の運輸 2013)

図 各務原市内のタクシー事業者営業所の分布



③バス

- 運行本数が多い岐阜バス 尾崎団地線、イオンモール各務原線 名鉄バス 一宮・川島線
- 2時間近くになるふれあいバス運行所要時間
- 名鉄各務原線、路線バスと一部区間競合関係にあるふれあいバス

岐阜バス尾崎団地線、イオンモール各務原線及び名鉄バス一宮・川島線の運行本数は、1日70本以上と多く、特に、尾崎団地線と一宮・川島線、それぞれ岐阜市、一宮市等都市間交通需要に対処する基幹的バスとして機能している。

一方、ふれあいバスは、交通空白地域を縫うように走行しており、起点から終点までの所要時間が1時間40分～2時間15分と長い、いわゆる長大路線となっている。また、名鉄各務原線や路線バスと同じルート並走行するなど、区間一部区間は競合関係にある

表 各務原市内 バス状況

■各務原 バス状況

	路線名	運行本数 (本/日)	運行 所要時間	運行時間帯		料金
				始発	終着	
岐阜 バス 等	尾崎団地線	80	-	5:49	22:54	距離帯
	深夜バス	1	-	23:10	23:46	距離帯 (通常の倍額)
	岐阜各務原線	6	-	10:00	17:37	距離帯
	岐阜川島線	23	-	6:20	20:32	距離帯
	倉知線	9	-	7:55	18:45	距離帯
	テクノプラザ線	16	-	7:00	19:33	距離帯
	各務原東部線	23	-	5:59	22:43	距離帯
	緑苑団地線	44	-	6:16	23:10	距離帯
	イオン各務原線	74	-	8:35	22:54	100円
バ名 ス鉄	一宮・川島線	70	-	5:53	22:59	距離帯
	木曽川線	4	-	6:21	23:07	距離帯
ふれ あい バス	西部・鵜沼線	12	1時間50分	6:38	19:22	100円 (未就学児は 大人1人につき 2人まで無料)
	東部・南部線	12	1時間50分	6:50	19:15	
	北部・川島線	12	1時間55分	6:40	19:46	
	循環休日線	6	2時間20分	9:30	16:48	

図 各務原市内 バス網と施設立地

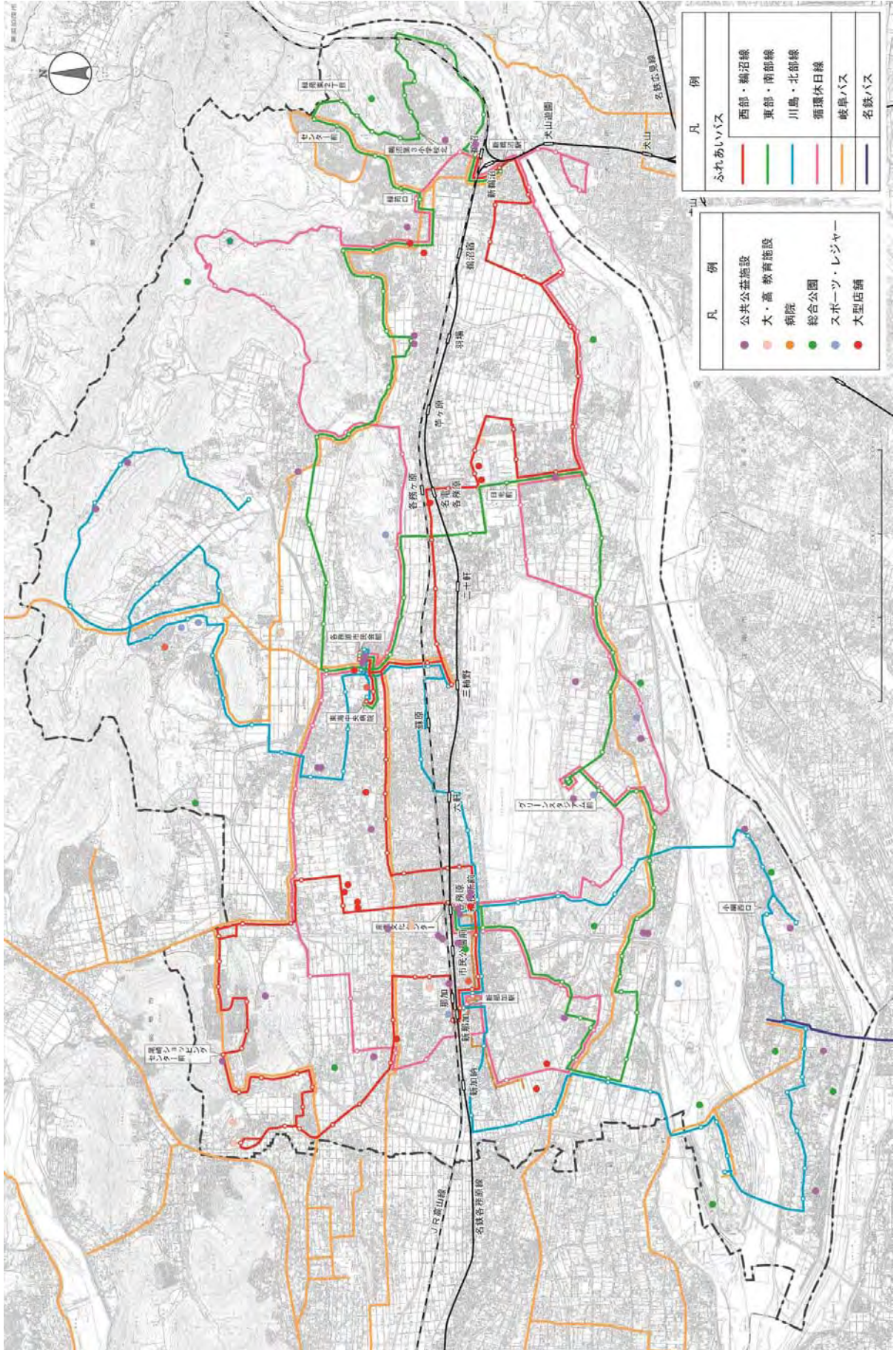
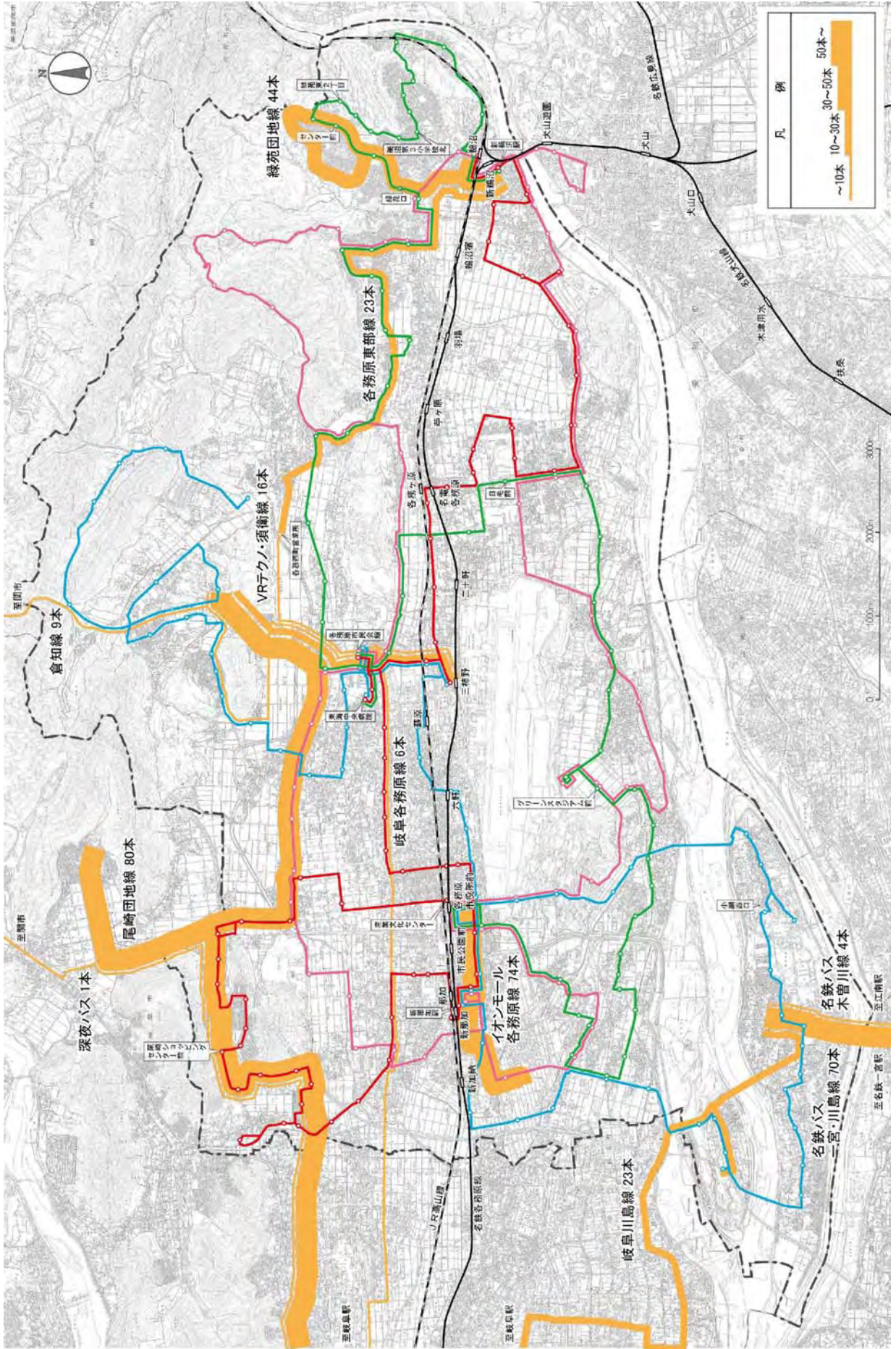


図 各務原市内 民間バスの運行本数



2) 利用実態の整理

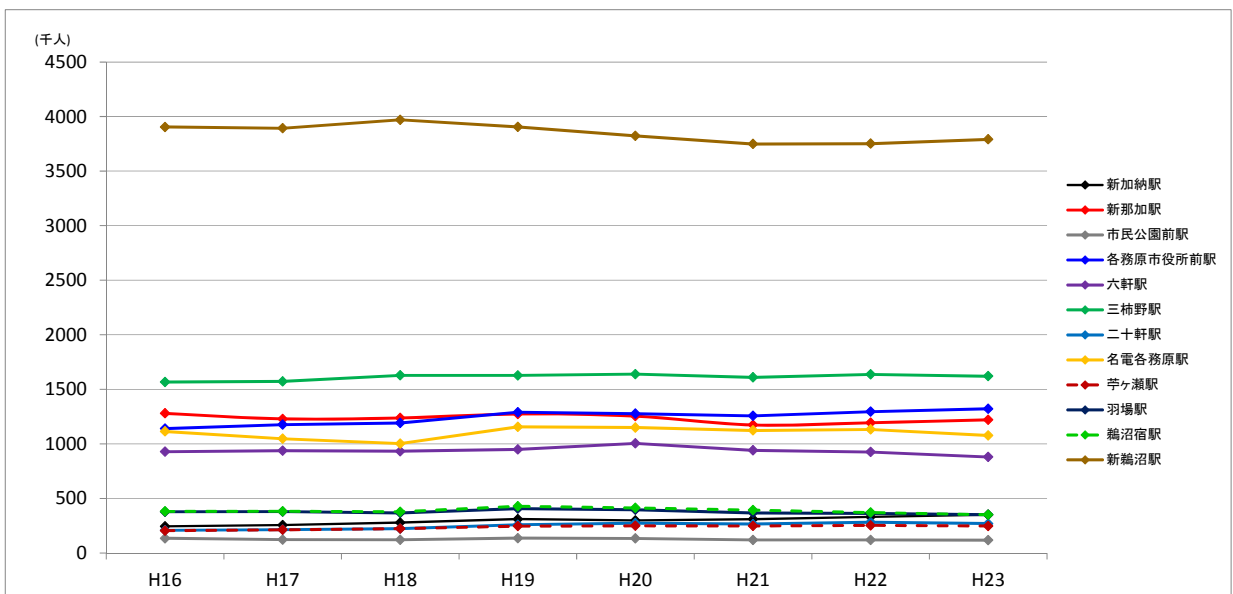
既往調査より、鉄道乗降客数及びふれあいバスの利用実態を以下に整理する。

① 鉄道

- 横這いの名鉄各務原線乗降客数
- 駅によって異なる名鉄各務原線定期率
- 名鉄各務原線に比べ、少ないJ R高山本線乗降客数
- 名鉄各務原線に比べ、高いJ R高山本線定期率（那加駅、蘇原駅、各務ヶ原駅）

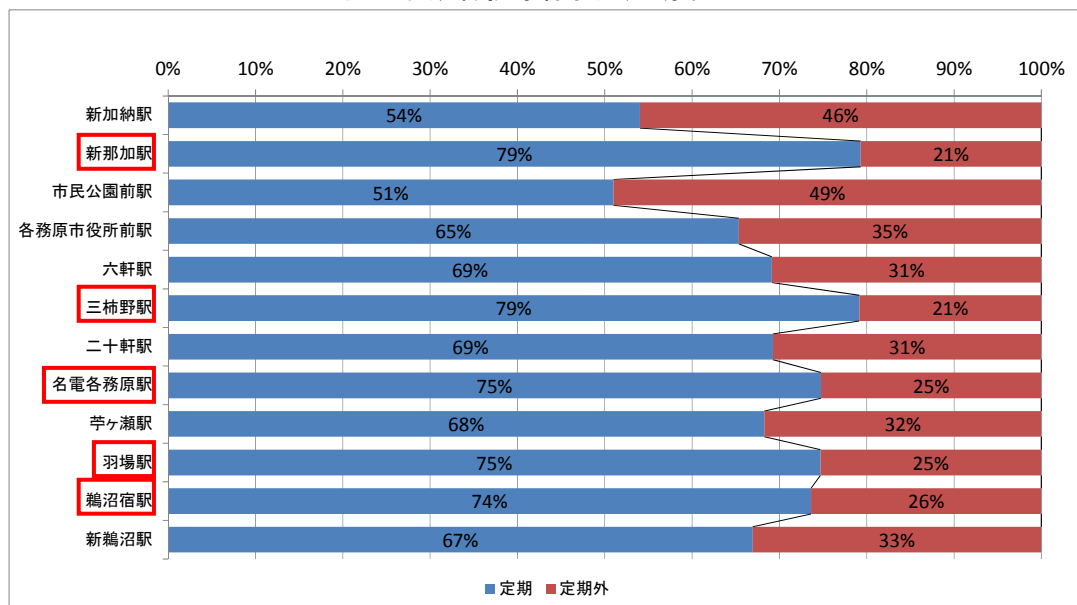
いずれの路線も鉄道利用者数は横這いの傾向にあり、各駅とも定期利用者が50%以上となっている。特にJ R高山本線は那加駅の定期率が90%以上、蘇原駅、各務ヶ原駅の定期率が80%以上と高く、利用者が固定的であることが分かる。

図 名鉄各務原線年間乗降客数の推移



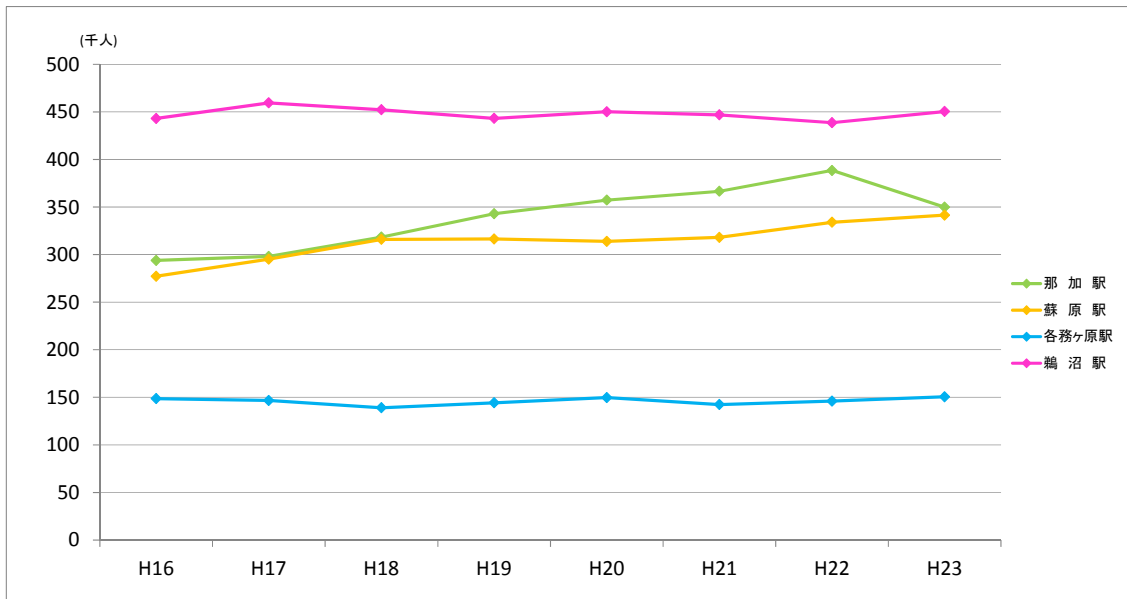
(資料；H25 各務原市HP)

図 名鉄各務原線駅別定期率



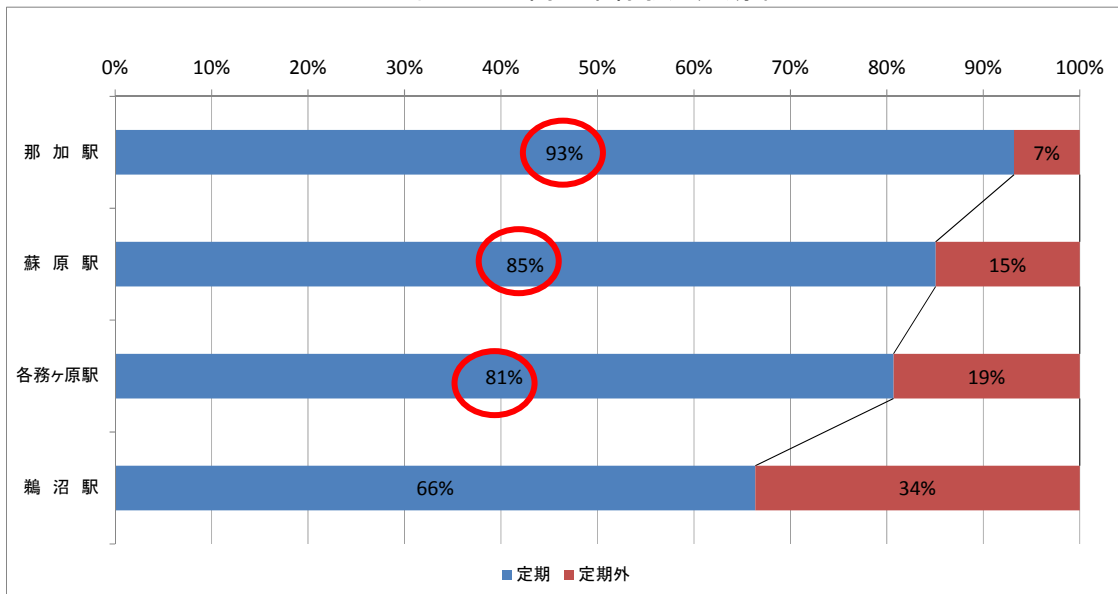
(資料；H25 各務原市HP)

図 JR高山本線年間乗降客数の推移



(資料 ; H25 各務原市HP)

図 JR高山本線駅別定期率



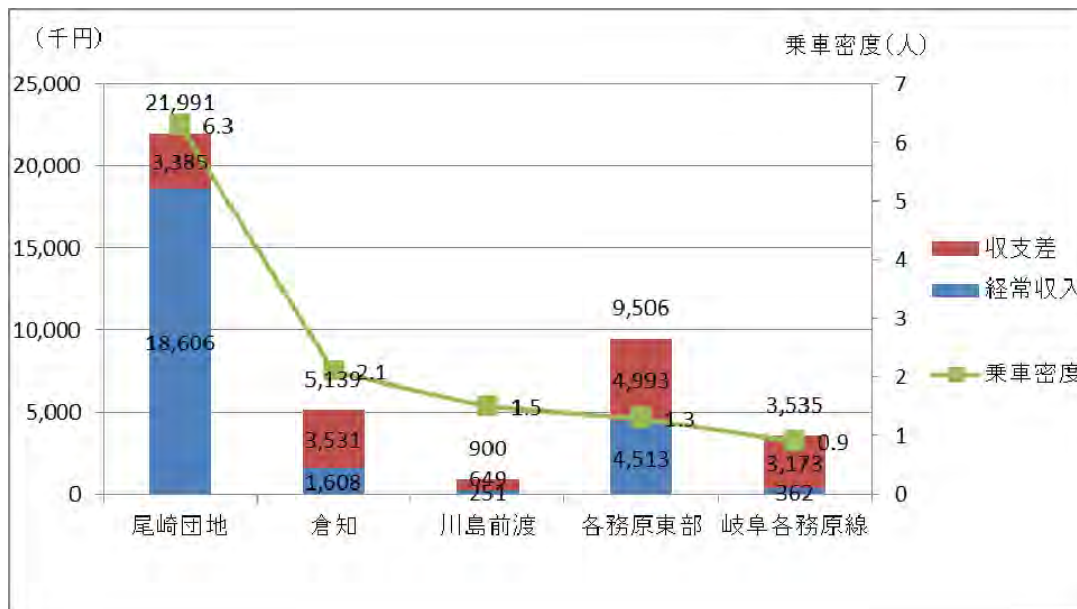
(資料 ; H25 各務原市HP)

②バスの利用実態

a) 路線バスの利用実態

- 利用者が多く、岐阜市方面への都市間幹線として機能する岐阜バス尾崎団地線

図 岐阜バスの路線別の乗車密度と運行経費



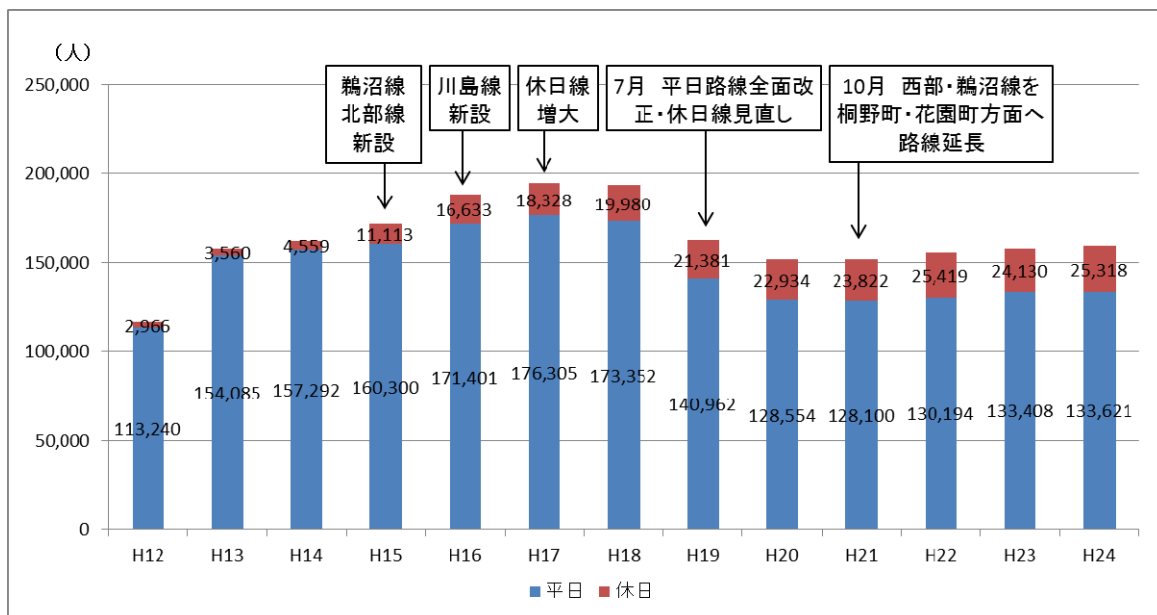
(資料：H24 岐阜バス資料)

b) ふれあいバス利用実態

- 伸び悩むふれあいバス乗車人員
- 増加傾向にある利用者一人当たり運行経費
- 低下する収支率・増加する市負担額

ふれあいバスの乗車人員は、平成17年以降年々減少の傾向にあり、1人当たり運行経費は増加（H24 現在 702 円）、収支率は年々悪化（H24 現在 11.9%）する傾向にある。

図 伸び悩むふれあいバス乗車人数



(資料 ; H24 各務原市資料)

図 増加傾向にある一人当り運行経費

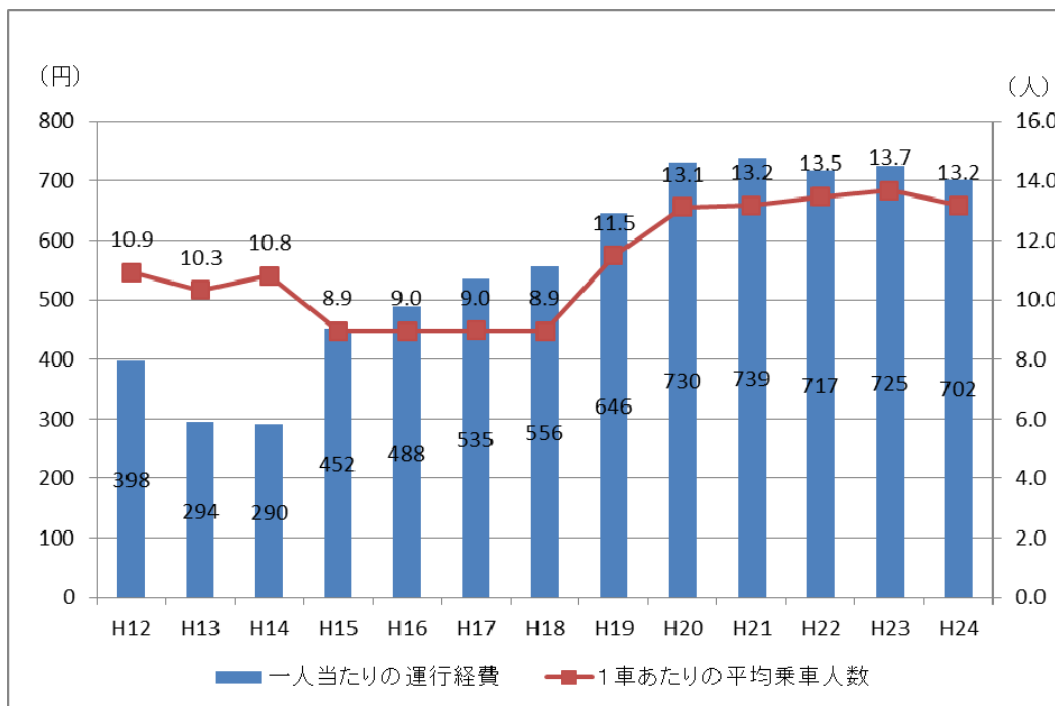
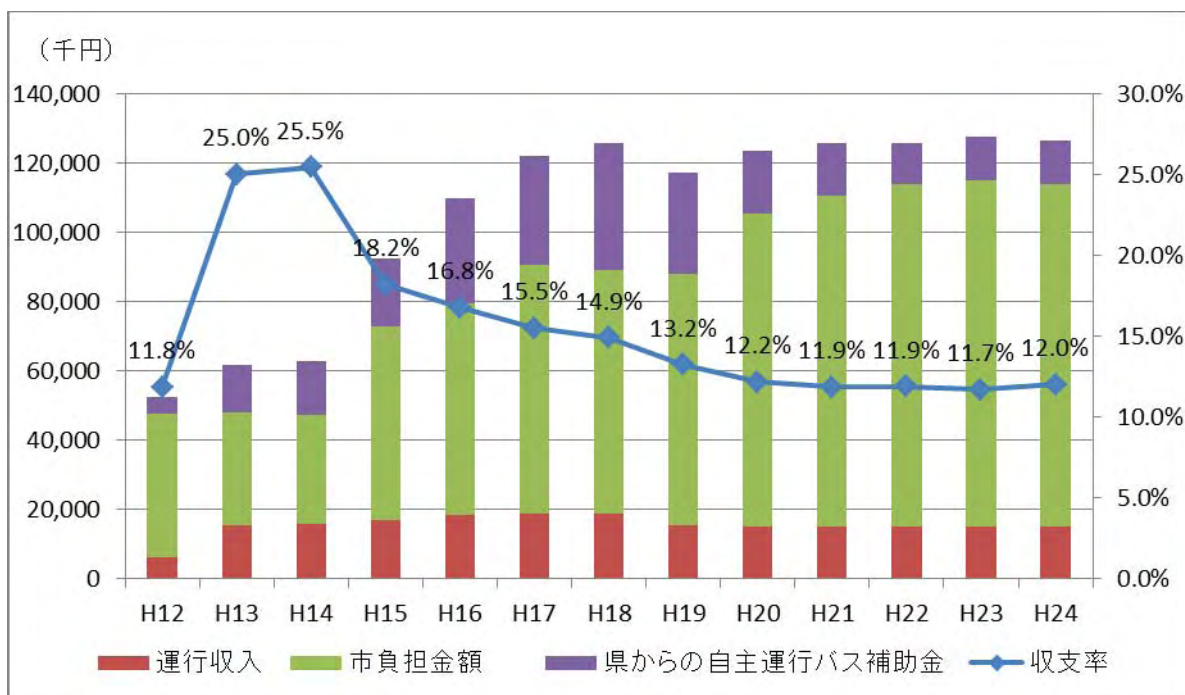


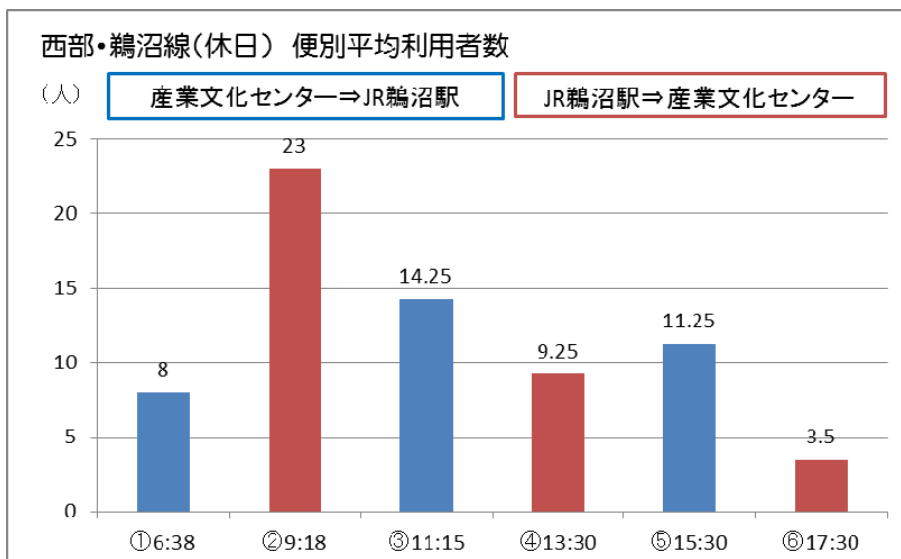
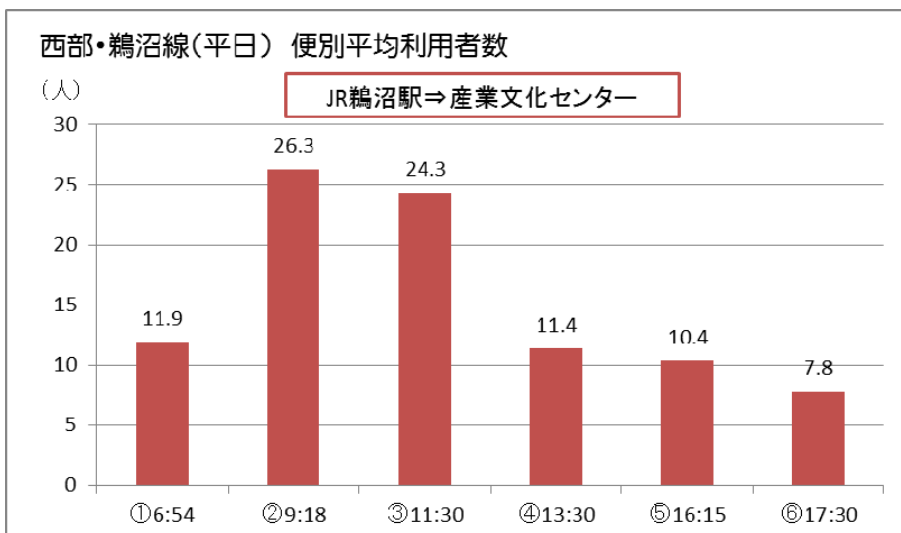
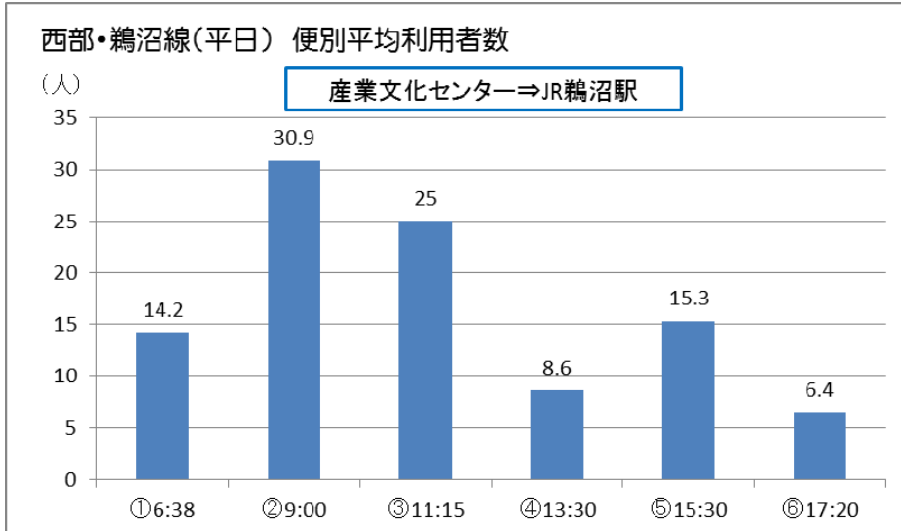
図 ふれあいバス 運行経費と収支率



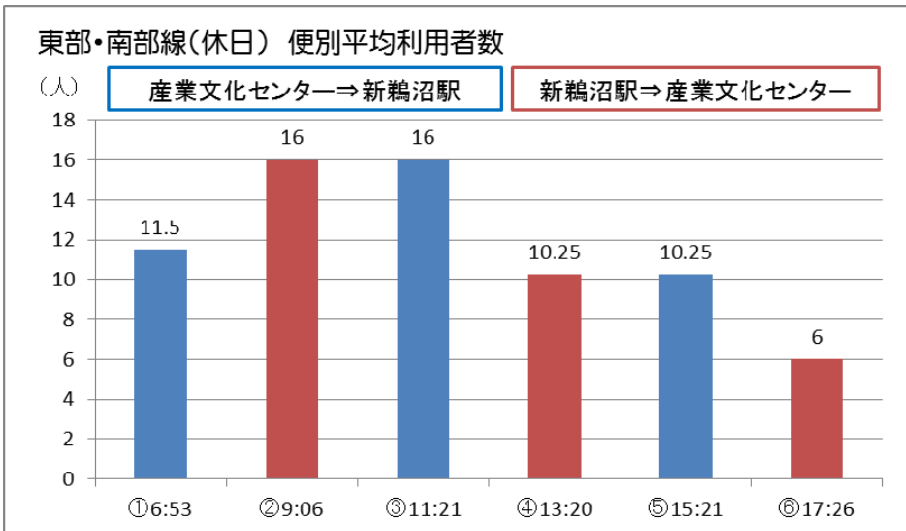
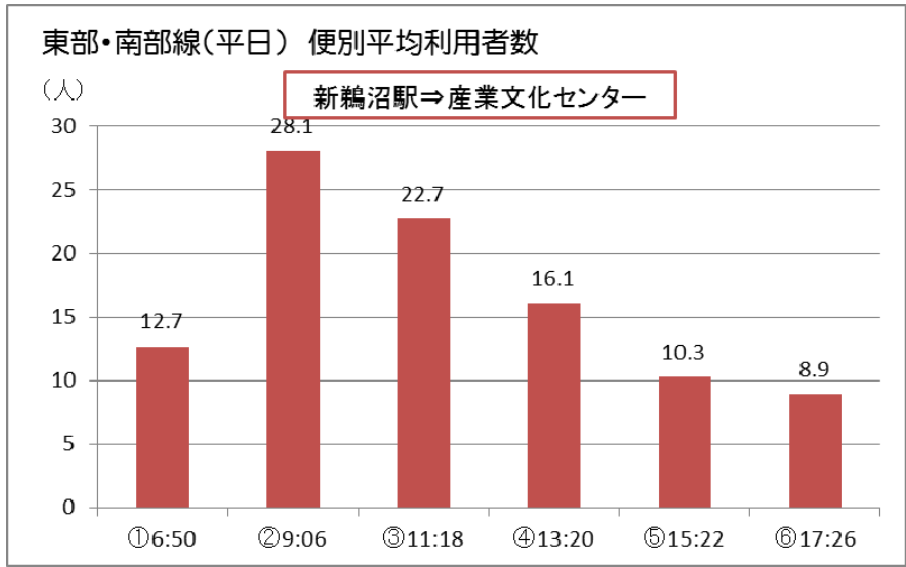
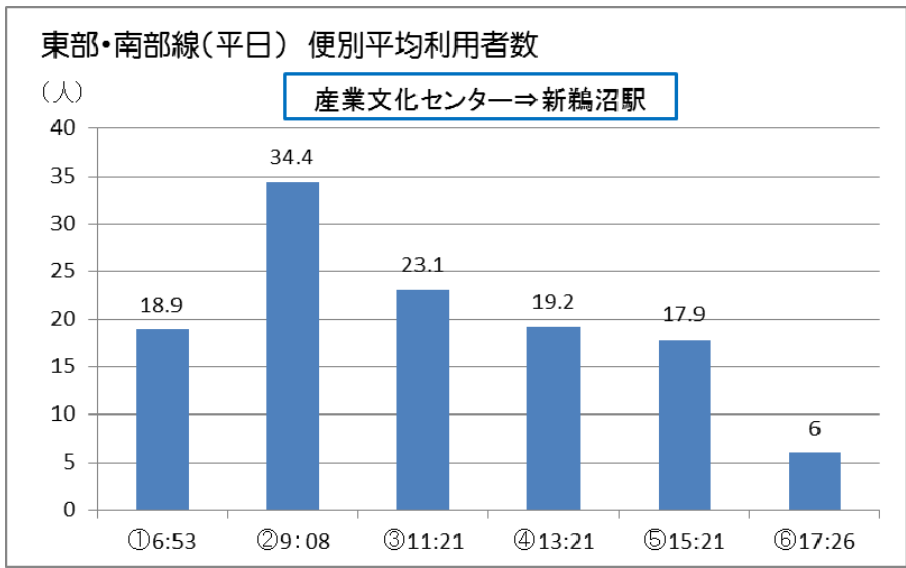
(資料 ; H24 各務原市資料)

- 便によって異なる利用者数
- 各路線とも利用者数が多い9時台の便⇔北部・川島線（おがせ町一丁目→内藤記念くすり博物館）は6時台の利用者が多い

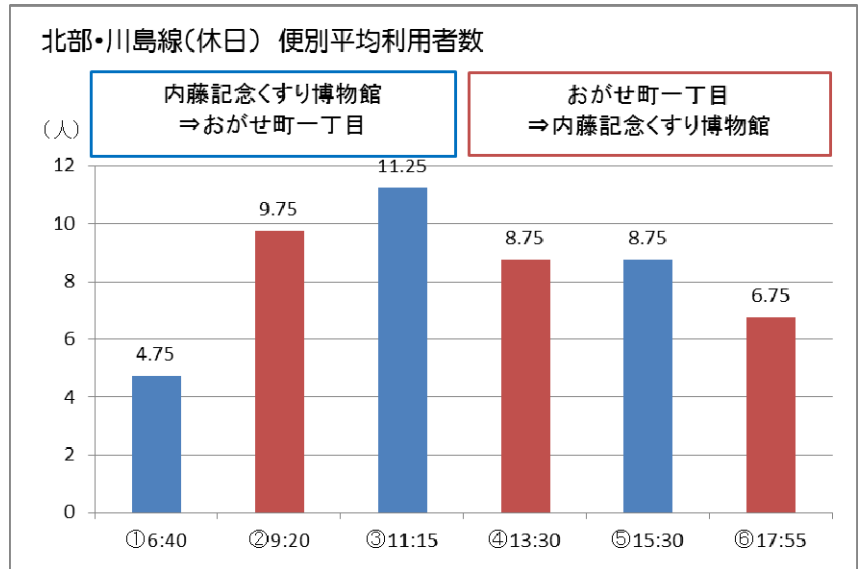
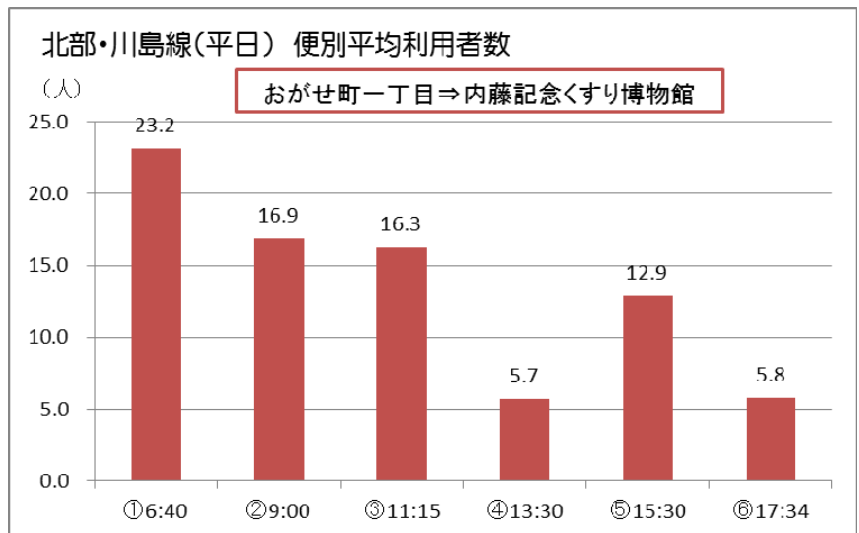
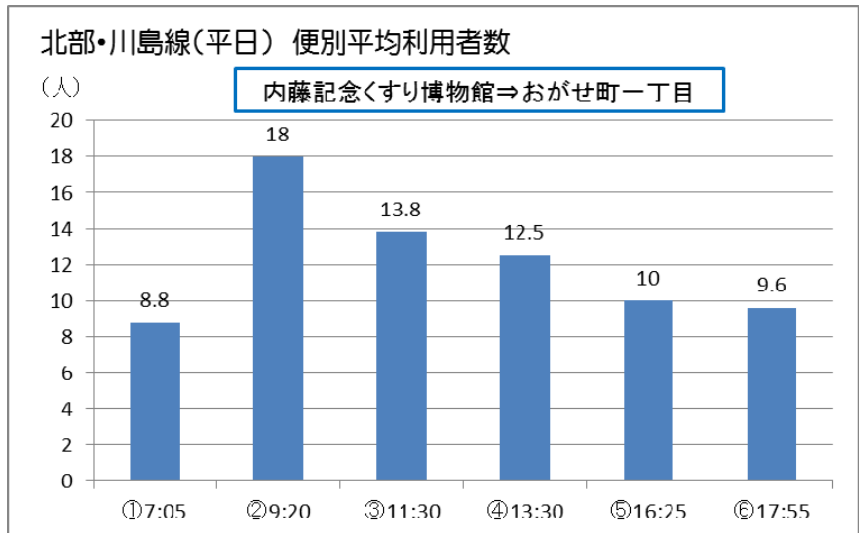
図 便別ふれあいバス利用者数



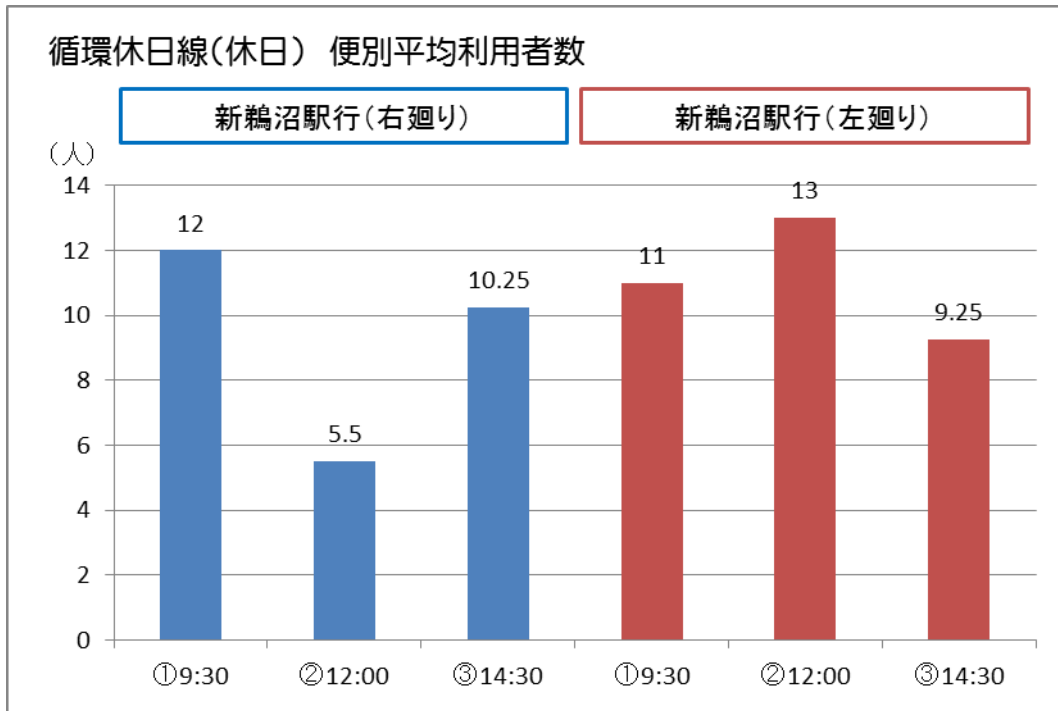
(資料 ; H22 各務原市資料)



(資料 ; H22 各務原市資料)



(資料 ; H22 各務原市資料)



(資料 ; H22 各務原市資料)

▼お年寄りで混雑する東部・南部線車内



- 女性がふれあいバス利用の約7割を占める
- 60才以上がふれあいバス利用の55%を占める
- 特に東部・南部線は高齢者が7割を占める

ふれあいバス利用者は女性が約71%、高齢者（60歳以上）が約55%を占めており、特に東部・南部線は約70%が高齢者となっている。

図 ふれあいバス 路線別・性別 利用率

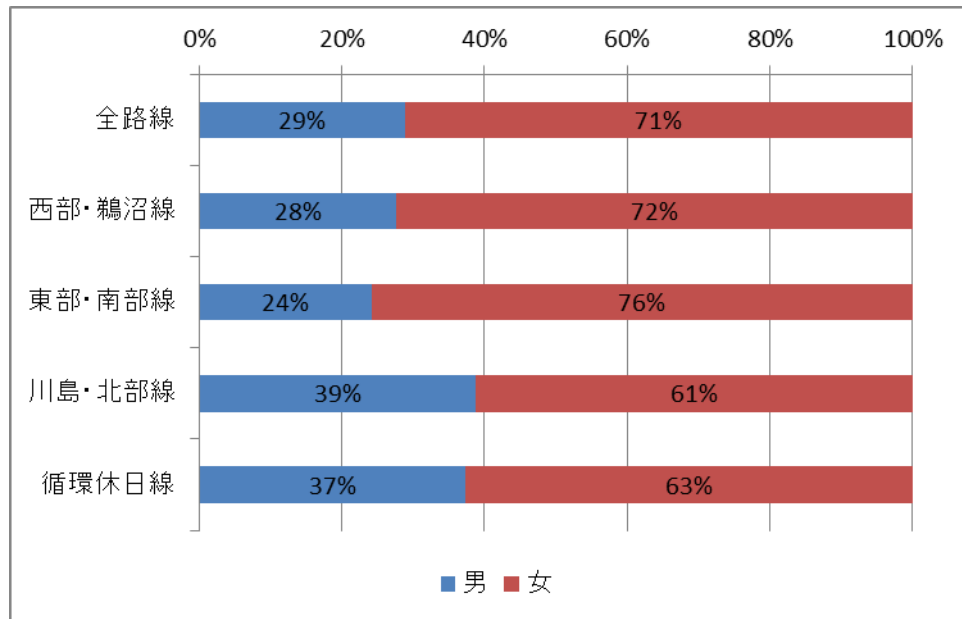
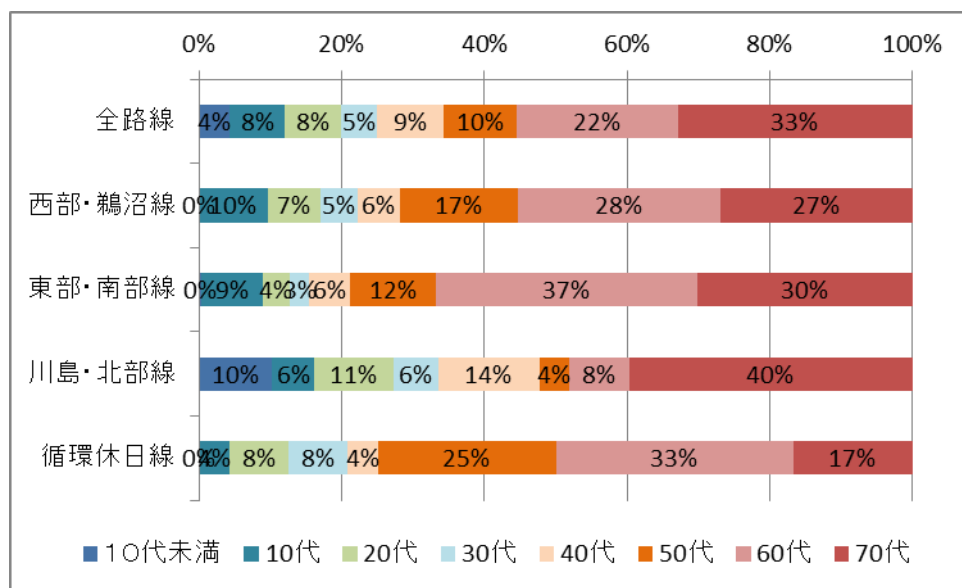


図 ふれあいバス 路線別・年齢別 利用率



(資料；H22 各務原市アンケート調査)

- 循環休日線は、公共施設利用者が約43%と多い
- 通院・通勤・買物目的が多い
- 循環休日線は、利用頻度が高い方の利用が少ない

図 ふれあいバス 路線別 利用目的

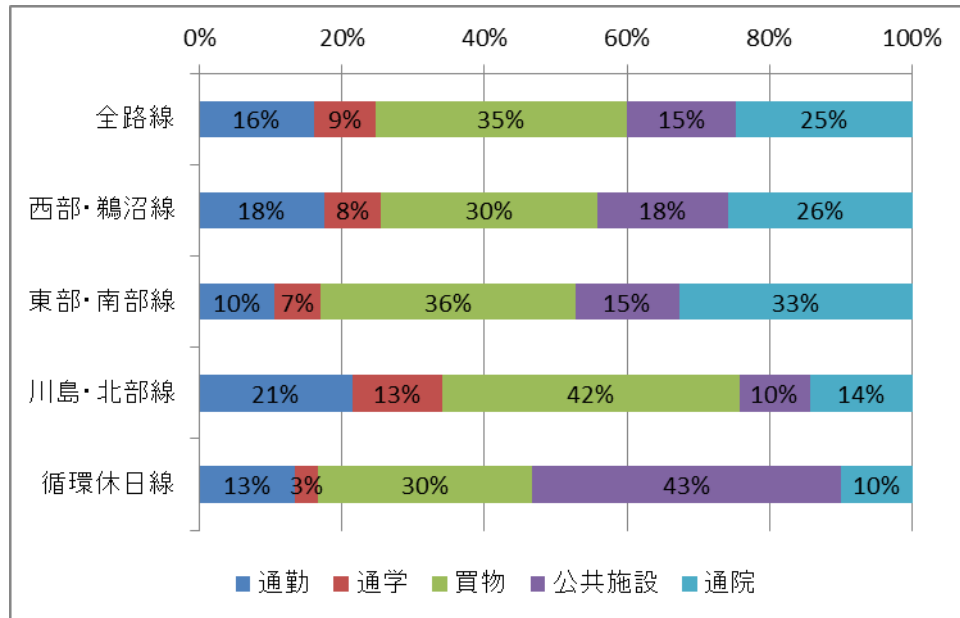
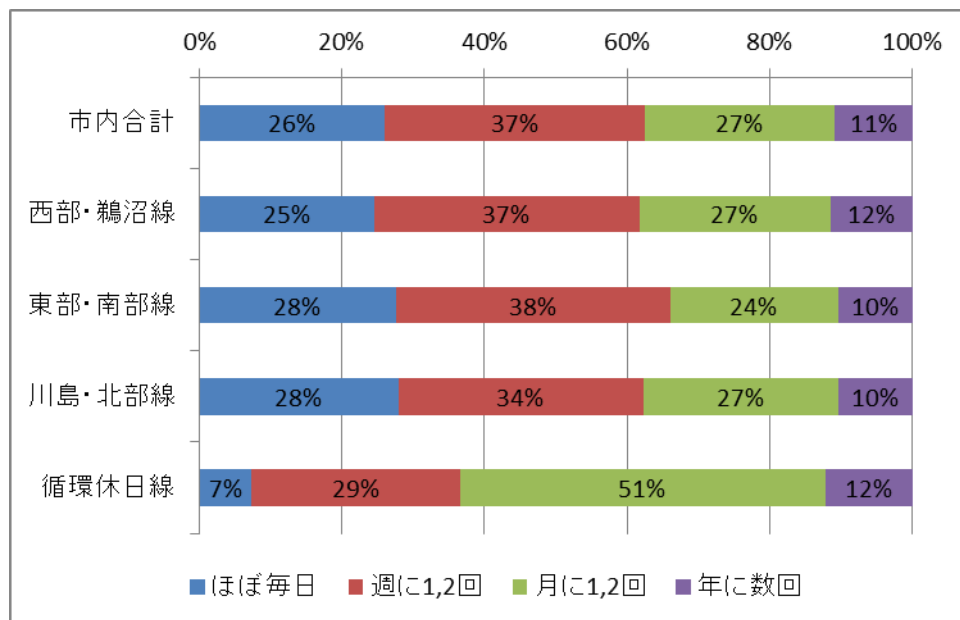


図 ふれあいバス 路線別 利用頻度

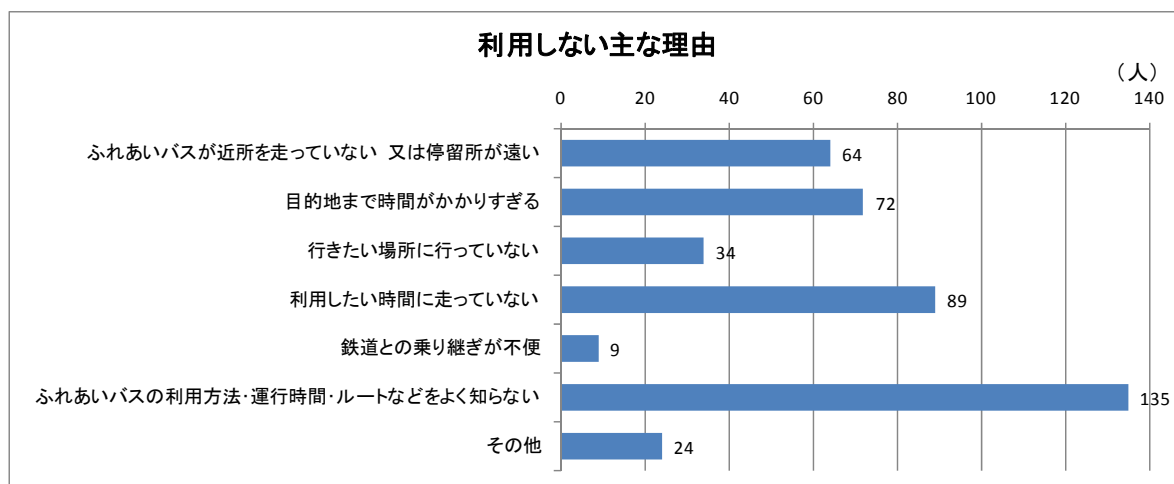


(資料 ; H22 各務原市アンケート調査)

●ふれあいバスを利用しない理由は、“利用方法、運行時間、ルートなどをよく知らない”が最も多い

ふれあいバスを利用しない理由は、“利用方法、運行時間、ルートなどをよく知らない”とする人が最も多く、ふれあいバスの利用促進に向けては、運行に関する情報提供が課題となる。

図 ふれあいバスを利用しない理由



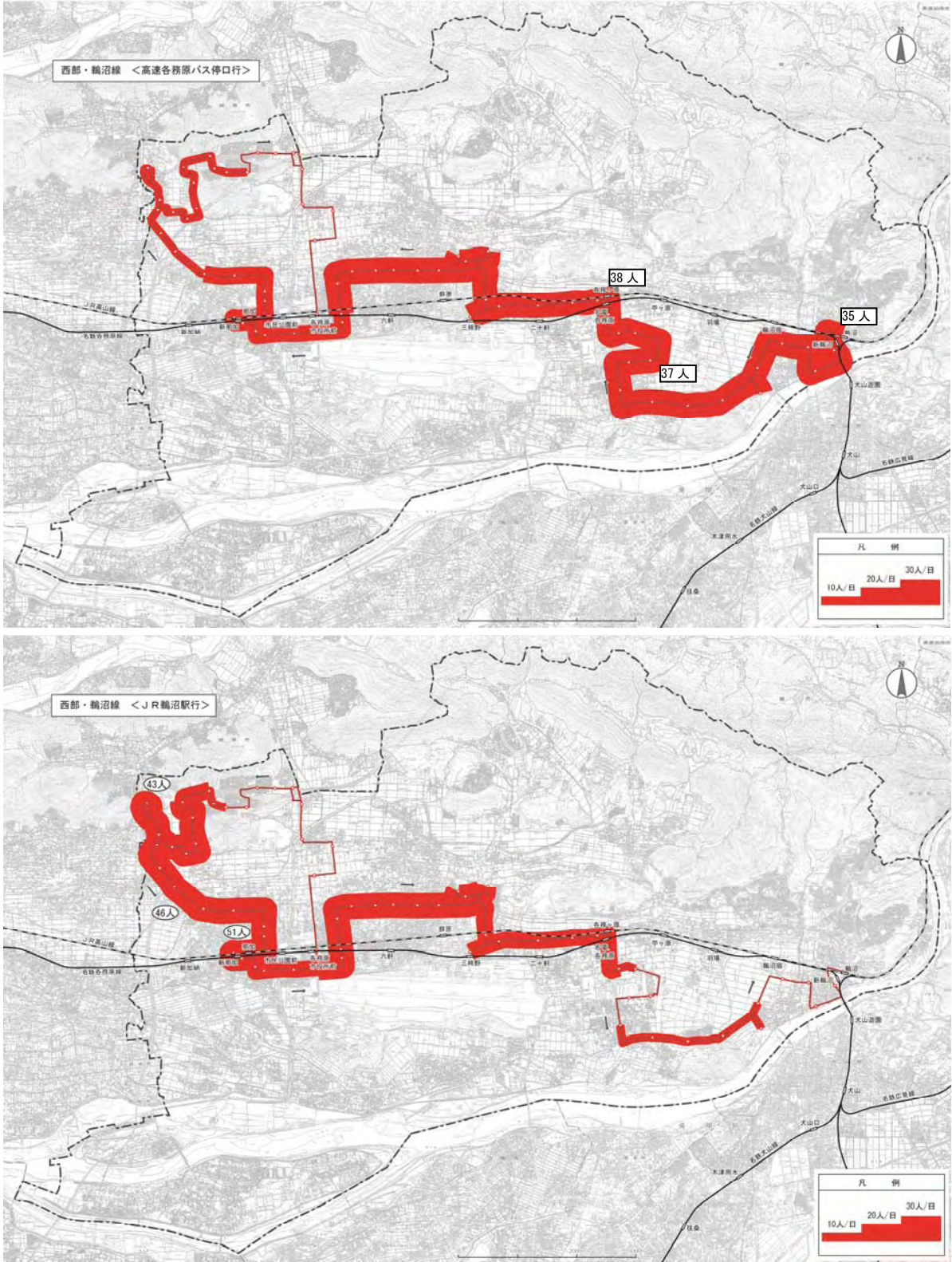
(資料 ; H21 ふれあいバスに関する調査)

●方向により利用者数が多い区間が異なる西部・鶴沼線

西部・鶴沼線 高速各務原バス停口行きは、新那加駅から東の区間で利用者が多く、特に JR 鶴沼駅から名電各務原駅の利用者数が多い。

西部・鶴沼線 JR 鶴沼駅行きは、名鉄各務原駅より西の区間で利用者が多く、特に東海学院大学前から新那加駅までの区間の利用者が多い。

図 区間別利用者数<西部・鶴沼線>

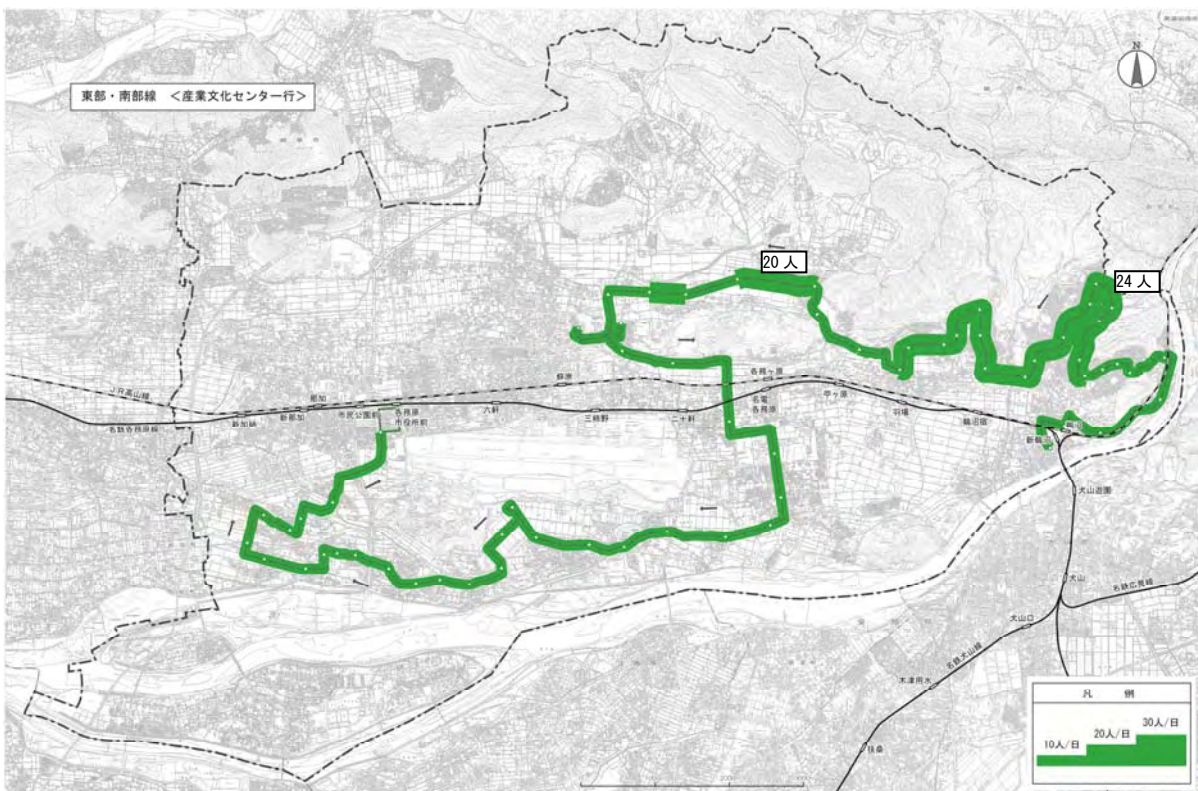
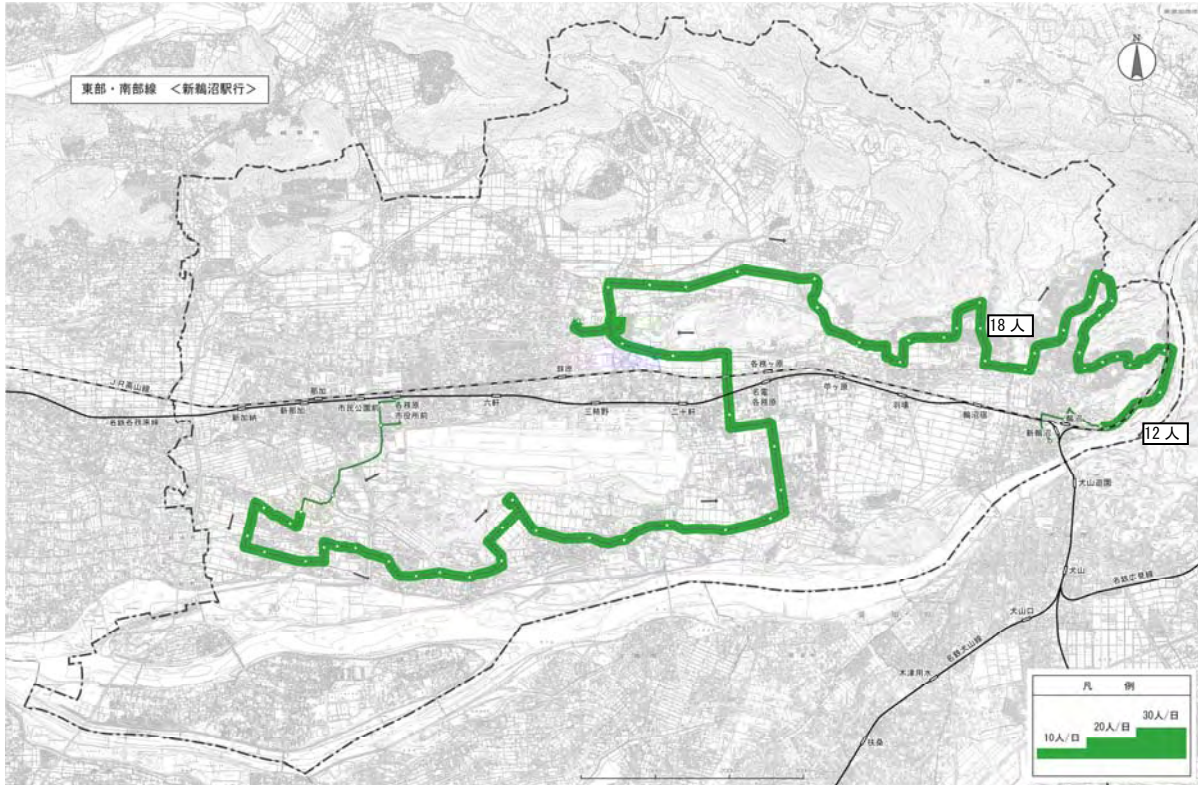


(資料 ; H22 各務原市資料)

●利用者数は広く均等に分布する東部・南部線

東部・南部線は、新鶴沼行き、産業文化センター行きともに、ほぼどの区間も均等に1日あたり約10～20人の利用がある。産業文化センター行きでは、緑苑口周辺の利用者が多い。

図 区間別利用者数<東部・南部線>

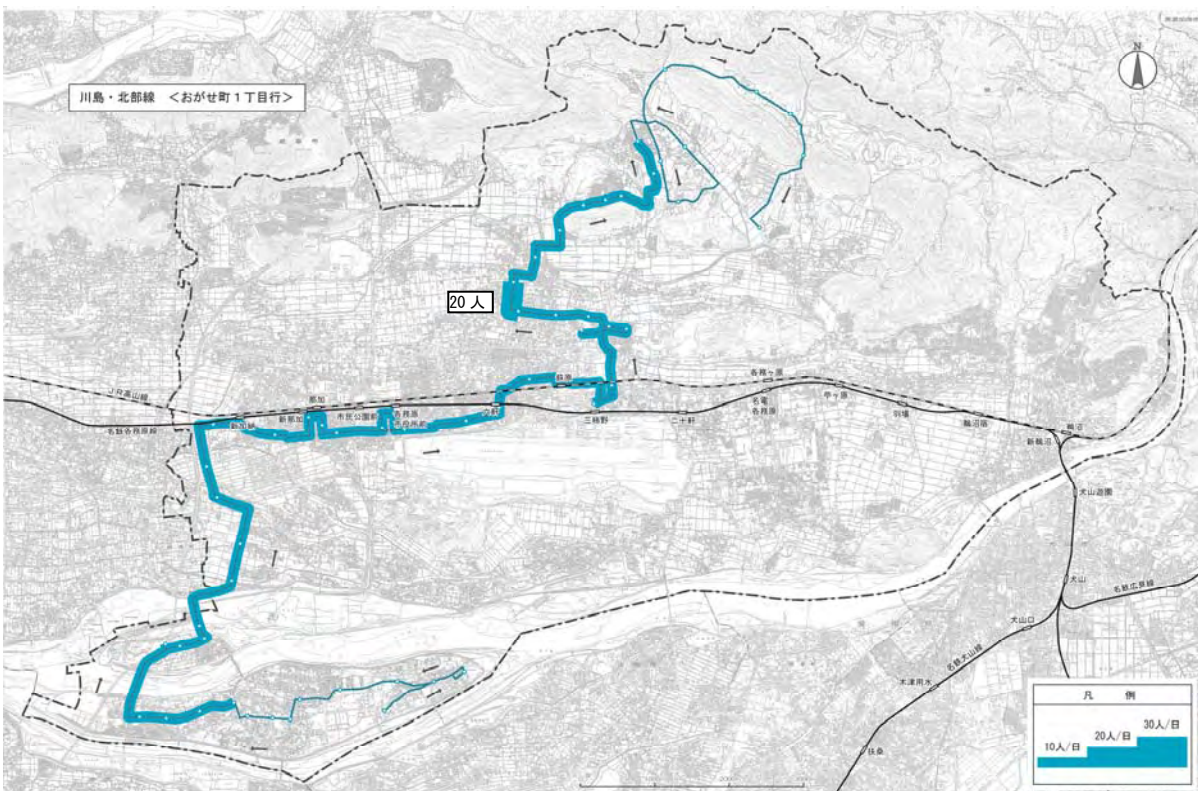
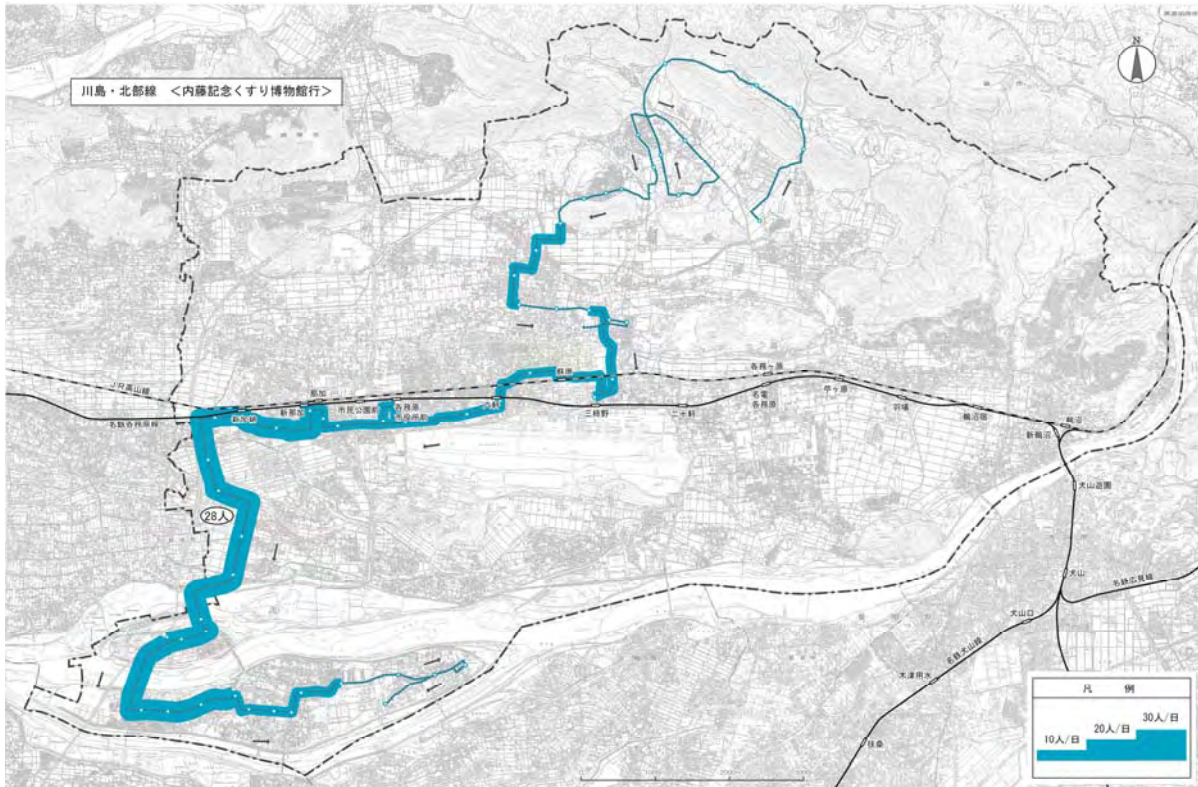


(資料 ; H22 各務原市資料)

●新那加駅からの利用者が多い川島・北部線

川島・北部線 内藤記念くすり博物館行きは新那加駅から北区間の利用者が多い。川島・北部線 おがせ町一丁目行きは、ほぼどの区間も均等に1日あたり約10~20人の利用がある。

図 区間別利用者数<川島・北部線>

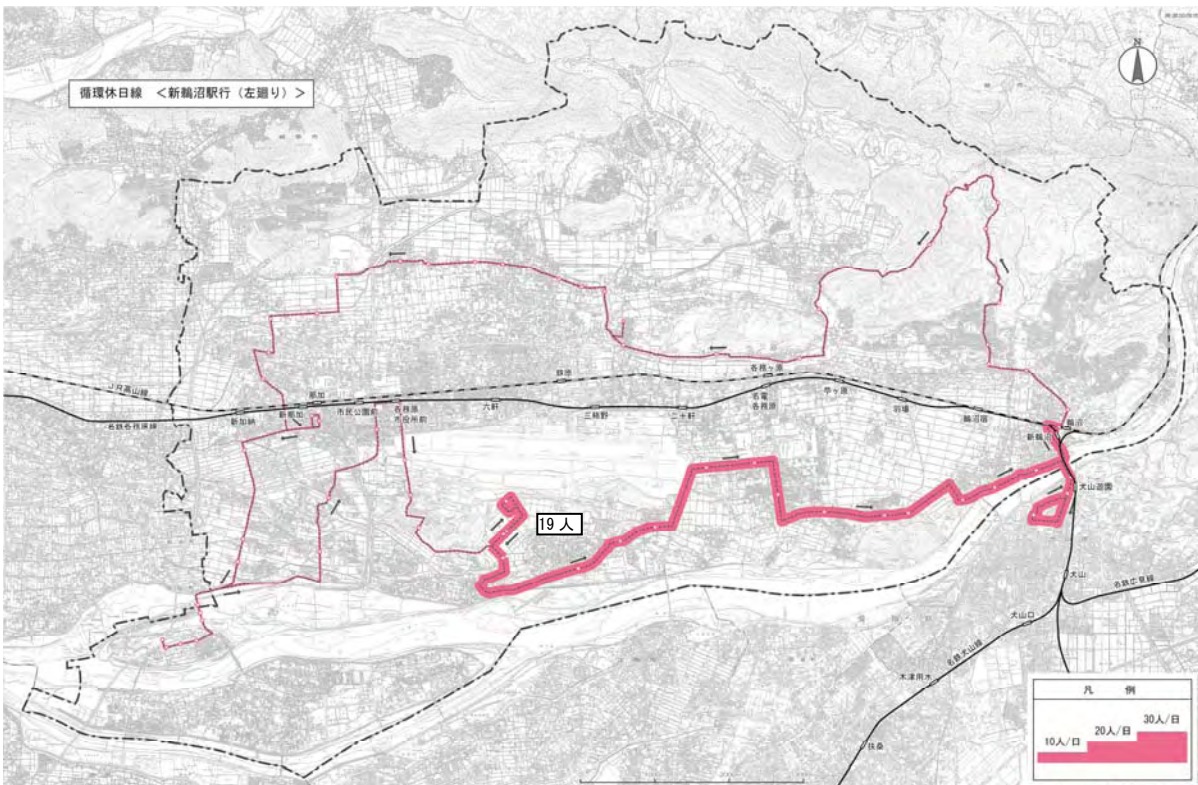
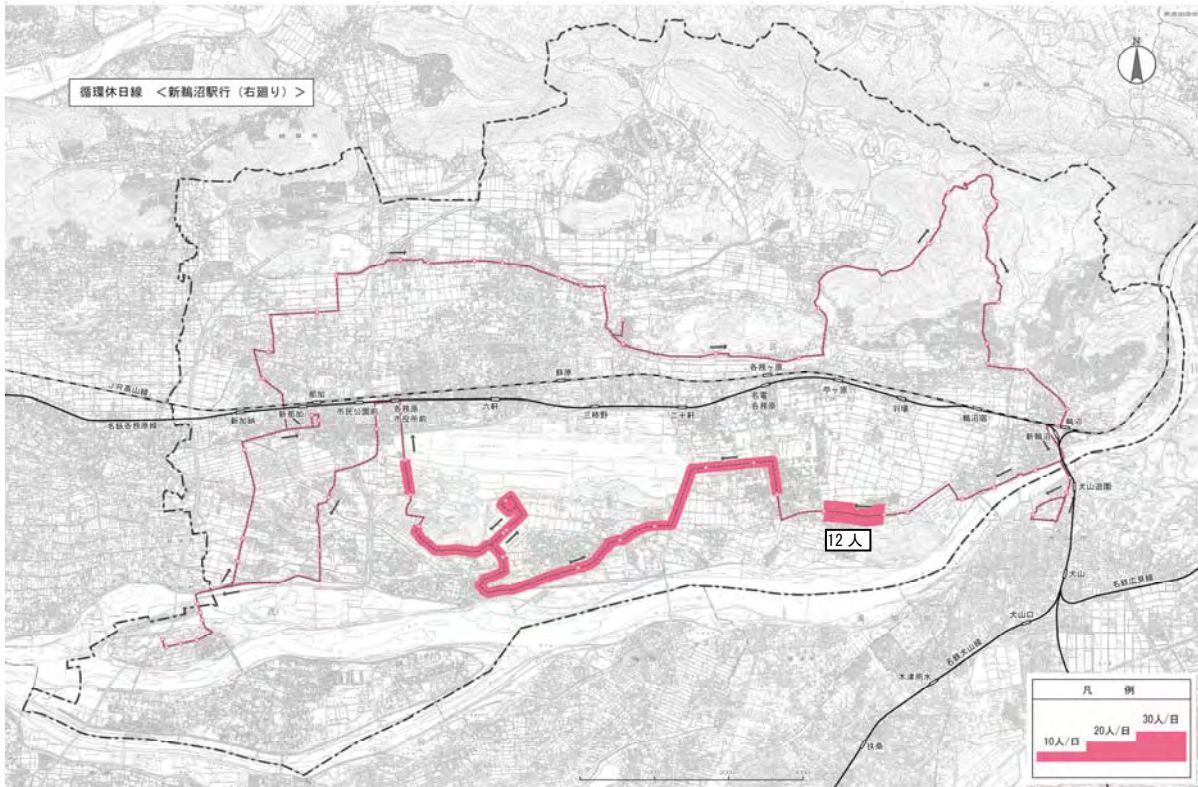


(資料 ; H22 各務原市資料)

●観光レク施設の利用が多い循環休日線

循環休日線では、航空宇宙科学博物館からパターゴルフ場、市民プールを通り、犬山遊園駅、新鵜沼駅までの間の利用者が多い。

図 区間別利用者数<循環休日線>



(資料 ; H22 各務原市資料)